

故に、外氣中で運動せしめることは、夏季たると冬季たるとに論なく、彼の爲に甚だ必要である。

八 彼には夙に家庭の用事を達すことを學ばしめねばならぬ。すなはち、器具の塵を拂つたり、瓶を洗つたり、豆の殻を破つたり、馬鈴薯の皮を剥いたり、胡蘿蔔の皮を剥いたり、絲を巻いたり、胡桃や扁桃の殻を破つたり、することを學ばしめねばならぬ。長ずるに至れば、寢具を乾したり、着物の塵を刷毛で掃いたり、皿を洗つたり、麵麩粉を捏ねたり、バターを練つたり、石臼を輾じたり、牛乳を搾つたり、家畜を飼つたり、寢床を展べたり、食事のお給仕をしたり、その他家事の多くを辨するやう慣らされねばならぬ。

九 盲兒を手細工に使へ。すなはち、手編み、鈎編み、棒編み、祖み紐等の手細工をなさしめよ。たとひこれらの些事は、直接の價值はなくとも、手先の技能を發達せしめるに有要である。

一〇 一言で盡せば、盲兒は眼明の間で生活するやうに教育せよ。彼の様子に於ても、彼の習慣に於ても、仕事の仕振りに於ても、出来るだけ眼明と

の違ひを少くせよ。

一一 盲兒には、努めて話しかけよ。何故といふに、彼は兩親の愛情を顔に現はれた所で讀むことが出来ないが故に、兩親の聲を再々聞くことを要する。彼が話をすることを覺えたならば、再々彼の周圍に關することを、および彼が聞いたことについて質問して見よ。彼にはしばしば、發問する機會を與へよ。而して、その發問は如何に馬鹿げたものであつても、常に親切に詳細に返答せよ。

一二 盲兒の前で話をする時には、言葉に氣をつけよ。彼は思想の發表に對する視覺の印象を受け取ることが出来ない故、言葉だけに注意深く耳を傾ける。それが爲、その印象は中々に拭ひ去られない。盲兒が、多くの場合に於て、眼明きの子供が聞き漏らした言葉を復現するもこの故である。されば、盲兒の前で言ふ時には、彼が汝の言葉に注意深く熱心に耳を傾けて居ること、一事も聞き漏らさじと努力して居ること、それらを理解しようとして居ることも、もしも考へなしのことを喋るならば、それが

何時間もの間時には何日間もの間彼の思想の題材となることに注意せよ。

一三 道德および宗教の教授は、眼明と同じ年齢の時に授けねばならぬ。眼明はしばしばこれらの教授を、文字を読み得る前に學ぶ。それ故盲兒と同一の状態にあるものといつてよい。

一四 盲兒には、不斷に作業および遊戯に使役せられることが、眼明よりも一層必要である。

一五 盲兒の前で、彼が明を有せざるを哀しむやうな泣きごとは、欠伸にも出さな。汝の悲嘆は、たゞ彼を落膽せしめるのみで他に益がない。もしも汝が然る手本を示さないならば、彼は自らの運命について、哀しむことを知らずに居ることが出来る。これに反して、彼には働くやうに出来るだけ他人の助を辭するやうに勇氣づけよ。斯くすることによつて、汝は彼に、度胸の据つた有用な幸福な生活を營み得る準備を與へ得るであらう。

一六 盲兒の記憶は、しばしば練習せねばならぬ。これ、記憶は、この兒に對しては極度に有用であるからである。盲人は物語を無上に好むものである。彼等には、審美的、道德的、歴史的の拔萃ものを暗誦することを教へよ。機會ある毎に、彼等にそれらを読み聞かせよ。

一七 盲兒は、聽覺と觸覺とによつて、物體の知識を得る。それ故ある物を理解せしめるには、すべての感覺に觸れしめ、その形大さを測らせねばならぬ。彼に理解せしめようとする物體は、必ず彼の掌中におき、觸覺によつて認知せしめよ。

第七章 聽覺障碍者の教育

第一節 全聾の教育

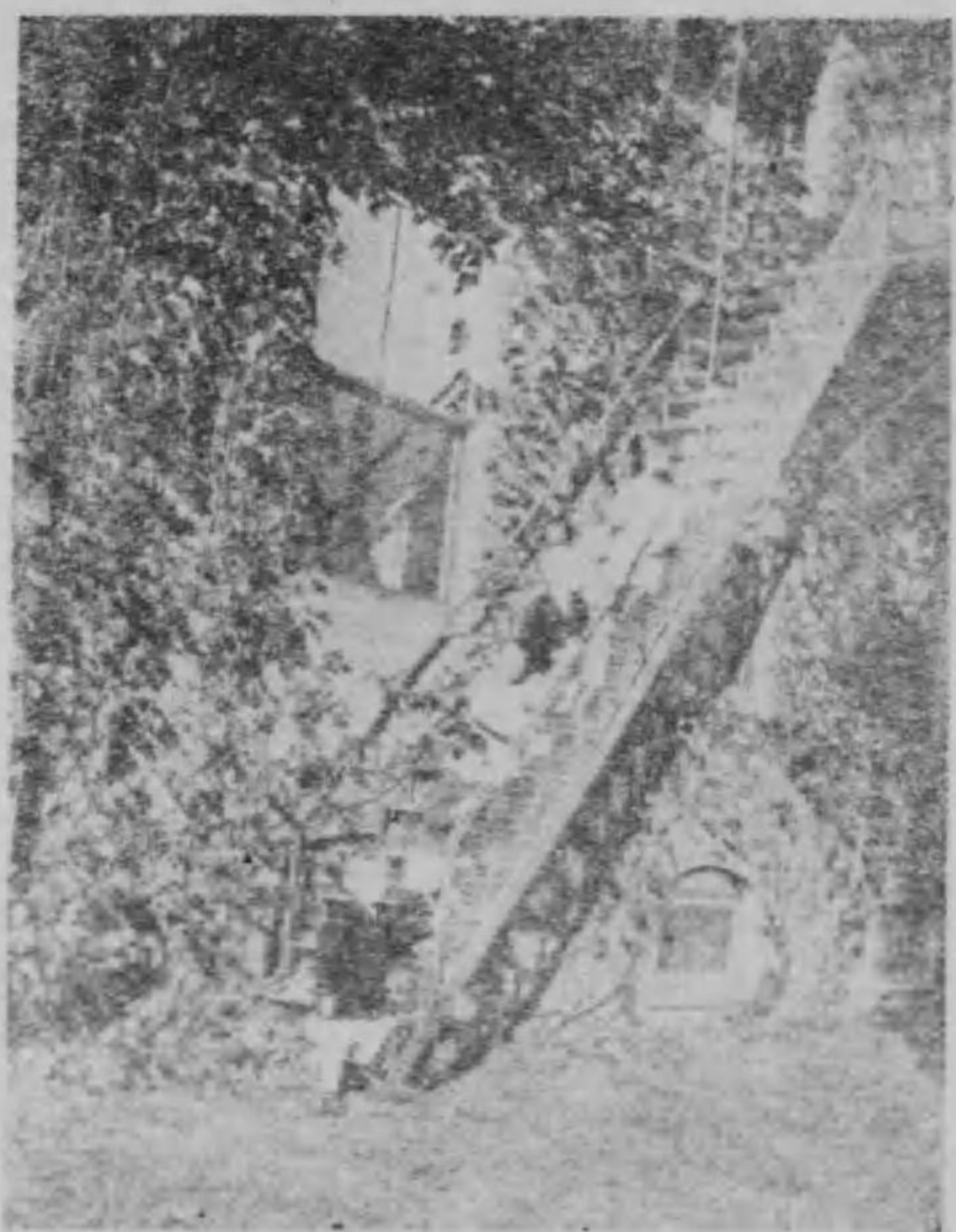
全聾とは、聽力の全く缺損して居るものを意味するのである。聽力が幾分なりとも残存して居るものは、これを亞聾と名づける。

全聾といひ亞聾といつて、更に啞といふ語を用ひない。聾啞といふ語のあるのに故らに、啞の字を避けたのには、譯のあることである。元來啞即ち口の利けないのは、耳の聞こえない即ち聾より來るが多いが、また耳は聞こえて居ながら口の利けない即ち啞なるもある。獨逸では前者を聾啞、後者を聽啞と呼んで居る。然るに西洋諸國に於ては、次々に述べる如く聾啞に發音法を教へて、自由に言語を操つり得るやう言ひ換へれば啞でないやうにし、聽啞は吃音者などと同じく、言語障害者の部類に組み入れるやうにして居る。それ故西洋諸國に於ては「啞は最早無し」といふ語さへある。我國も亦一日も早くこの啞を無くするがよからうといふ考から、豫言的にこの語を避けたのである。

聾兒幼稚園——聾兒もまた盲兒と同じやうに、普通の兒童と同じ年齢で就學せしめるは、不愜であるといふ考から、従前は就學期を數年後らせて居つたが、今日では、成るべく早く特別な教育を受けしめるがよいといふ考が一般になり、幼稚園または託兒所の類が勃興しつゝあると同時に、従來の聾學校も就學年齢を引き下げて、學齡以前の聾兒をも收容する傾向になつて居る。なほ

聾兒幼稚園

また従前は、寄宿學校にするがよいといふ考であつたが、今日では寄宿制は教育的見地から見て、不自然な點が多く、且また兒童には成るべく多くの人に接



火事だ！ (非常練習)

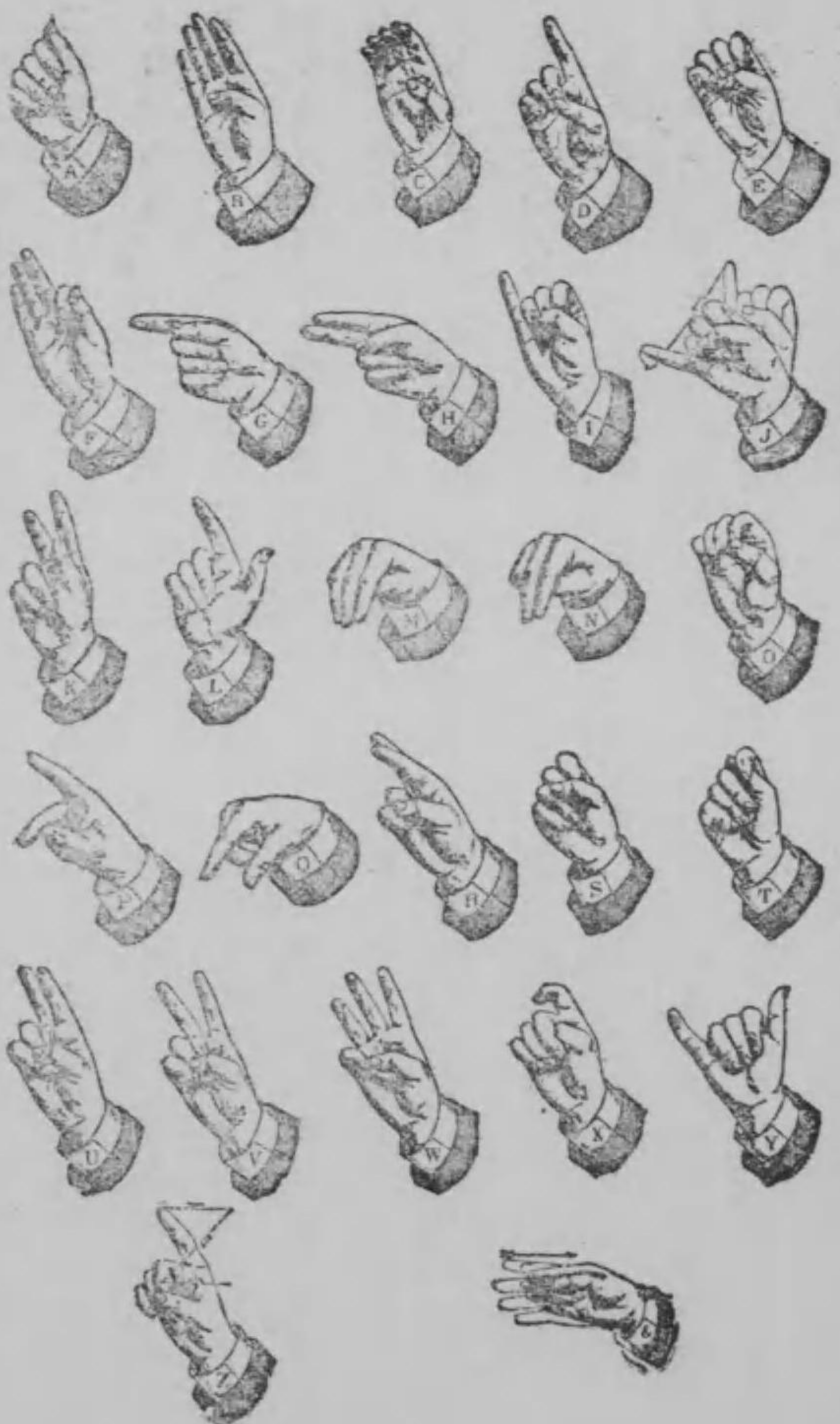
して多くの人の言語を理解しまた己の思想を傳達する練習の機會を多からしめるが得策であるといふ考からして、家庭から通學せしめる傾向になつて居る。余はカリフォルニア州立盲啞學校に於て、幼年兒の學級を見たが、五歳の女兒が、殆んど天才ともいふべき程、他人の言語を視話によつて解するを見て驚いたことがある。フィラデルフィア市には、學齡前の聾兒言語練習園



折紙細工

Home for the training in Speech of
Deaf children Before they are of school
age といふがあり、遠方より聾兒を
託せられるので、二の家庭舎とも三
十人宛を收容する設備を有して居
つたが、市内に家庭を有するものは、
附添人とともに通學せしめて居つ
た。各學級は五、六人宛より成り、教
師の唇の動くを見て、ブロークンな
聲で返事をして居つた。尤もこの
園には、學齡期に達したのもも入園
して居り、十分に言語を學習した上
で、普通の小學校に轉校せしめると
いふことであつた。

聾兒に言語を教へるに二つの方法がある。その一を緘黙法 Silent method



といひ、その二を口語法 Oral method といふ。緘黙法にまた三種ある。その一

は符牒語 Sign language といひ、手眞似や身振で思想の交換をするものである。これは聾者には最も自然的なもので、聾教育史上最初の方法であつた。その二を寫字法 Written method といひ、文字文章によつて思想交換をなさしめるものである。その三を「手」いろは Manual alphabet といひ、前圖の如く手指の形を以てアルファベット二十六文字を表はし、これを結合して語文となすものである。口語法は、發音發語法を授けて、聾兒に口語によつて自らの思想を發せしめ、他人の唇の動き方を見てその思想を解せしめるものである。この他人の唇を見て、その思想を讀むを、讀唇法 Lip reading または讀話法 Speech reading とす。

歴史の上から見ると、この口語法は最も新しいもので、また最も合理的なものである。併し、これが聾兒の教育所に採用せられるまでには、幾多の論難を経た。口語法に反對するものはいふ(一)世界に於て最もよく教育せられた聾者は、口語法よりも他の方法を選ぶ。(二)最も經驗に富める聾教育者は、口語法が最良のものでないといふ。(三)口語法の主張者は、他の方法の長所を熟知し

口語法に對する難點

て居ず、唯猪武者的に自法の利點のみを説く。(四)手眞似法は、最も自然的なまた世界的なものである。これは今日の活動寫眞がこれを明かに證據立て、居るのではないか。と併し、口語法運動は、今日中々に其勢を緩めない。米國ウオシントン市には、ヴォルタヴェーローといふ協會があつて、盛んに口語法に關する著書を出版し、また同名の雑誌を發行して無料で配布し、ひたすらにその宣傳に努めて居る。

口語法のみを純用しようといふ論を純口語主義 Pure oralism といひ、これに對して口語法に混するに緘黙法中の一二を以てするもの例へば、口語法と符牒法とを混用するものを結合法 Combined method といふ。純口語主義反對論者は、概ねこの結合法を主張して居る。而して、この兩者の目下の狀勢如何をこの議論の最も激しい米國について例して見るに、最近着の該國雜誌によつて見れば、米國に於ける百六十の聾教育所は、一萬五千の聾生を有して居るが、内三千五百人が純口語主義で教育せられて居り、他の一萬五千は緘黙法または混合法で教育せられて居る。これを百分比にして見れば、聾生の四分の一



靴(シューズ)といふ語の發音法を教へて居る
兒童は皆教師の口形を模する一男兒は靴を手でして居る一
女兒は教師の咽喉に手を觸れてその振動を感じて居る

が純口語
法で教育
せられて
居るとい
ふことで
ある。
言語の
教授は音
聲學的に
母韻父音
の發音よ
り綴音の
發音とい
ふ順序に

出でゝは、兒童の興味を喚ぶことの出来ないこと、普通の兒童以上である。それ故、自然的な方法に出で、先づ動作實物繪畫を示して、その觀念を得しめ次に教師これを語にして發音して見せ、兒童には教師の口並に舌の位置等を注視せしめて、それを模倣せしめる。次にこの語を分解して、父音母韻となしてその發音を教へ、次に再び結合して語となさしめる。而して、實物繪畫は日常兒童の經驗に觸れ、既にその意味を知つて居るもので、それを言ひ表はす語の發音機關の運動は、外から視易いものから始める。例へば、パパ(父)ママ(母)ジャンプ(跳ねろ)ラン(走れ)スキップ(踏み變へ)等の如きである。即ち、教師は父の實物または繪畫を示して、パパと發音し、兒童をして教師の唇を視てこれを模せしめる。或は大なる鏡を備へておいて、その前に立つて兒童自らに口形を形づくらしめるもある。次にこれを分解してPの發音を教へる。これが爲教師は兒童の手の甲にP(ブ)の發音と同時に息を吹き掛けて、それを感じしめ、兒童をして自らの手に同一の感を起さしめる様、息を出さしめる。次にこれを聲と結合せしめる。これが爲教師は前の圖にある如く兒童をしてその手を教

師の咽喉に當て、その振動を感じしめ、それを標準として兒童各自にP(プ)と發聲せしめる。

讀唇法の教授は、幼稚園では極めて紐解きに過ぎないが兒童の内伶俐なるものは、中々によくこれを習得し得る。この他は幼稚園の仕事としては、普通の幼稚園と異なる所なく、ダンスもあれば遊戯もあり、書き方もあれば手工もあり、たゞ「お話し」がないばかりである。

聾學校——聾學校は、米國に於ては州立のもの、外、市郡立私立のものもあり。その名稱は、従前は聾啞學校スクイルフオアデフンドムといつて居つたが、この章の初に述べた理由で、今日では漸次啞の字を去つて聾學校と稱する傾向になつて居る。これより前一八八六年にアメリカ聾啞院委員會は、その會名並に年報中より啞の字を削除することを決議した、これは恐らく米國に於ける最初の改革であらう。シンシナチ市並にペンシルヴェニア州の如きは、口語學校オーラルスクールといふ名稱を用ひて居る。併し英佛獨に於ては、依然として啞の字を保存して居るが多い。課程は小學校と高等學校とを併置するが普通である。今これを、米國ウオシ

聾學校

課程

トン市にあるケンデル聾學校について例證して見れば、次の如くである。

第一學年

感官練習——形、色、觸、數、運動。

讀話——物名、命令、單文。

談話——言語の要素、その結合、呼吸練習。

言語——單文、自動詞、第一過去、他動詞およびその目的格、複主語、複客語、音通および固有名詞、名詞の複數、指示及び目的代名詞、前置詞(イン、イン、ツ、オン、アンダー)五盤式。

數——日の勘定、動作ごと、時間の勘定。

第二學年

談話及讀話——

言語——五盤式、スウィート嬢の第一號、單文章、疑問形、肯定および否定の現在、過去、未來、名詞、動詞、ツ、ハ、ブ、ツ、ビーの練習、代名詞、前置詞、形容詞、助動詞。

算術——五十までの数の読み方および書き方、十までの加方および減方、
口答および筆答問題。

第三學年

談話及讀話——

言語——五盤式、スウィート嬢の第一號、單文章、疑問形の練習、雜誌、手紙、記
事、昔話、動作ごと、簡易なる直接及間接引用法。

算術——百までの数の読み方書き方、五十までの数の加方減方、簡單なる
口唱問題、速心算。

第四學年

談話及び讀話

言語——五盤式、スウィート嬢の第二號、動作ごと、直接および間接引用法、
比較、雜誌、手紙、記事、昔話。

地理——自然物研究、廣さ、方角、教室、校舎、校地、市街。

算術——言語および文字による数の読み方書き方、二十までの羅馬數字、

第五學年

談話及讀話

加へ方引き方、簡單な乗法除法、九々表暗誦、口唱問題、貨幣、暗算の速算。

言語——五盤式、スウィート嬢の第二號終、雜誌、新聞、手紙、簡易なる作文、直

接および間接引用法、簡易なる讀本の讀方。

地理——ウォシントン市、コロンビア區、メーリーランド州、米國、ウォシン
トン、リンカーン等の話。

算術——ウエントウォース氏の小學算術、九々表全部、短除法、簡單なる多
數法、口唱又は板書問題、暗算。

第六學年

談話及讀話

言語——五盤式、スウィート嬢の第三號、直接または間接引用法、雜誌、手紙、新
聞、記事、昔話、詩を散文に改作、讀書。

地理——ピーチ嬢著ファーストレッスンス。

第七章 聽覺障害者の教育

算術——ウエントウォース氏小學算術、四則復習、短長除法、最小公倍数、最大公約數、萬までの羅馬數字、分數、暗算の速算、口唱および板書問題。
歴史——アンナチェースデヴィス氏著米國史讀本、短簡なる歴史物語。
第七學年

談話及讀話

言語——スキート嬢著第四號、各品詞、疑問形、訛言、雜誌、新聞、手紙、記事、物語、詩を散文に改作、讀書。

地理——フライ氏著ファーストステップス。

算術——ウエントウォース及スミス氏共著、分數。

歴史——モンゴメリー氏著初等歴史。

生理——リッピンコット氏著。

第八學年

談話および讀話。

言語——文章の解剖練習、各品詞の復習、作文、物語、雜誌、時事記事、昔話、物語

の改作文の撮要、詩を散文に改作、讀書。

地理——フライ氏著。

算術——ウエントウォースおよびスミス氏共著、分數、小數、名數法。

歴史——モンゴメリー氏著初等歴史。

生理——リッピンコット氏著。

第九學年

談話及讀話。

言語——ロングマン氏著簡易文典、作文、讀書。

地理——フライ氏著。

算術——ウエンスウォースおよびスミス氏共著。實地測量、百分比。

歴史——英國史。

生理——リッピンコット氏著。

第十學年

談話及讀話。

第七章 聽覺障害者の教育

英語——ロングマン氏著英語文典、ウエルシュ氏著作文書、古典研究、言行録、讀書。

算術——ウエントウオースおよびスミス氏共著、利息、比例、元金、株券および公債、割引、爲替體積。

米國史——モンゴメリー氏著、リーディングブック。

民主政治——ドーウエス氏著。

物理——カラー氏著第一卷。

第十一學年(高等科)

談話および讀話——

英語——簡單なる修辭、作文、古典、專門學校入學者の爲、英米文學、讀書。

數學——算術復習および代數初歩。

米國史——モンゴメリー氏著、リーディングブック。

一般理科——カドウエルおよびエイケンベリー氏共著。

第十二學年(高等科)

談話及讀話——

英語——作文、古典、專門學校入學者の爲、英米文學、讀書。

數學——ウエントウオース氏著、ニュースクールアルゼブラ。

註。この學年に於ては、規定の學科の外、前學年に於て完結せなかつた學科の學習、または復習をなし、專門學校入學者の準備をなす。

此の外に實務練習、家事の手傳をなさしめる。(即ち寢具を整へること、掃除をなすこと、乾物をすること、食事の手傳をなすこと等。)また手工(紙折り、厚紙細工、紙織り、ラファイアおよび綿の漂白、ラファイア細工、茅及ラファイア籠製造、襪機織り等)圖畫(鉛筆畫、クレオン畫、水彩畫、幾何畫法、木工、料理、裁縫等の課業)を課す。言語の教授は、聾教育の主なる仕事であるが、これを出來得るだけ完全ならしめる爲に、種々の方法が講ぜられて居る。今ニューヨーク聾兒院にて使用して居る音聲發達練習を舉げて見れば、次の如くである。

音聲練習

練習法。

以下樂器を用ふることなしに、

I 身體練習

身體を固苦しく持することなく、姿勢を正しくし、舌を正常の位置において、

(a)呼吸法——(1)横隔膜および肺臓が充滿するまで空氣を短かく吸ふ。一二三……六と數へつゝ三にて吸ひ始め、六にて頂點に達す。之と同時に兩腕を側方に高く舉ぐ。次に兩腕を下ろしつゝ、同じ仕方で空氣を呼く。(2)兩腕を肩と水平の高さまでに舉げつゝ、長く空氣を吸ふ。號令、伸ばせ。吸へ。吐け。(3)肩の高さまでに兩腕を舉げつゝ、長く吸ひ、次に兩腕を下げながら三と言ひつゝ、徐々に吐く。(4)律動的呼吸。三歩歩む間に吸ひ、三歩間保持し、次に三歩歩む間に吐く。呼出の時 *and up* といふ語を繰り返へし唱へしめる。

(b)肩の練習——肩の凝を取る爲肩の廻轉運動をなさしめる。最初兩腕を側方に垂れ、次にこれを舉げ、前方から後方に廻はすと同時に、肩の廻轉運動をなさしめる。

(c)平均運動——兩腕を肩と水平の高さに側方に舉げ、頭を眞直にし、腰から上を右方に四回曲げる。次に左方に四回曲げ、次に一回宛左右に曲げる。一二三四五六七八と呼唱せしめる。

(d)兩手を臀部に當て、拇指を前にし、肘を後ろにする。次で頭を右に廻轉すること四回、左に廻轉すること四回、次に一回宛左右に廻轉する。一二三四五六七八と數へること前の如くする。

II 開口練習(軟口蓋を上下する爲)

舌を正しき位置におき、*ee*と發音せしめる。宛も欠伸の時の如く、軟口蓋を上下に開いて息の出る孔を大きくする。次に *How-how*と發音し、次に *y-ou; y-i*と發音せしめる。これらは欠伸と同じ運動をなすものである。もし兒童が故意的に欠伸運動をなすやうになれば、これに越したことはなす。

以下ピアノに合はせて

III 舌の練習

固苦しくすることなく、正しき姿勢で立ち、手を開いてピアノの上におく。
 (1) 舌を出来るだけ口外前上方に突き出す。(2) 舌を出来るだけ口外前下方に突き出す、四回繰り返す——一二三四五六七八と数ふ。(3) 口を蓄めて兩角を迅速に觸はらしめること八回、數へること前の如くする。(4) 口を廣く開き、舌の尖端を以て口の一角に觸れ、上唇に沿うて他の一角に運び、次で下唇に沿うて元の位置に戻らしめる、四回、反復八まで數ふ。(5) 口を廣く開き、舌の尖端を右から上唇に沿うて廻はすこと四回、次に同じく右から下唇に沿うて廻はすこと四回。(6) 舌を兩側方から合せて槌形をなし、これを突き出す、八まで數ふ。

VI 氣息調整

(1) ピアノがボンと響くと同時に、迅速に吸入し、次に oo, loo, soo, foo, moo, zloo, 等と發音しつゝ、徐ろに呼き出すこと八回。(2) 徐ろに二拍子間吸入し、ピアノの響とともに Booi! Stop! Jump! Halt! と發音しつゝ呼出する。
 (3) 二拍子間または八まで數へる間吸入し、次に徐ろに sh, zh, buzz! と發音

しつゝ呼出せしむ。(4) 急速に吸入し、また同じ速度で Hawk と言ひつゝ呼出せしむ。

V 音量並に抑揚の調節

吸入し、次に sh と言ひつゝ呼出する。初めは柔らかに漸次強く弛くしつゝ。oo と言ひつゝ同一な呼出をする。Ho-o-o ho! ho! Ho-o-o hurrai! Hip, hip, hip, hoo-ray! (初め柔らかに、漸次高くし、最高で終る)

VI 音の調節

Too, to, tah. (t は n を用ひ音を集中す) N.....no no no no no.....
 だるみ及び響き。

VII

M munn munn munn munn.....mah mah mah mah.....の如く may, mee, maw, mo, moo, 等を用ひしめる。これらの練習は、出来るだけ易く且つ柔らかなにさしめるを要する。兒童には「眠たい様に言へ」と命ずるがよい。
 響き。

Hung-ee, hmy-oo, humg-o, hung-ah, hang-ah,

Hung-ee-oo-0-aw-ah

Hung-ee-oo-0-ah

(斯く⁵で終つて居る語を用ひしめる)

VIII 曲折

Nee nah	Kee kam
hee han	Tra la la.....
la la	Ta da ra.....

IX 高低の練習

ピアノを弾じ、兒童に高低交々變化する階音に注意せしめ、高さを考へしめる。彼等をして、その高さを片手で手振に現はさしめる。練習。

最初は五音梯だけを用ひる。上げ下げしつゝ、

oo, aw, ah,
 1 3 5 5 3 1
 m m m m m m

5 4 3 2 1 5
 m m m m m m

同じやうに lay ay ay ay ay ay,

lee ee ee ee ee ee,

law aw aw aw aw aw,

loh oh oh oh oh oh,

1 8 7 65 4321
Hung ee Prolonged

" oo "

" o "

" aw "

" ah "

do, re, me, 等につきつゝも練習する。音階は次の如くする。

1 2 3 4 5 6 7 8 8 7 6 5 4 3 2 1

1 2 8 2 8 2 8 1

1 2 3 8 3 8 3 8 1

1 2 3 4 8 4 8 4 8 1

1 2 3 4 5 8 5 8 5 8 1

1 2 3 4 5 6 8 6 8 6 8 1

1 2 3 4 5 6 7 8 7 8 7 8 1

a a a

5 8 8 5 8

Yo-ho yah-oh-yah

He-l-lo yo-ah-yo

Come-on yee-oo-yee

Once-mone yee-oh-yee

ya-ee-ya

Hop, hop, hop,

Make a little jump,

Hop, my toady hop,

Make a bigger jump,

Hop, hop, hop, hop, hop,

Make a gret big jump.

Hop and nener stop!

Birdie bly

Run, run, run, run, run,

To the sky.

Run and nener stop!

Sently rocks my light canoe.

Swinging, swinging,

Listen to the bngle blow

Up me go,

Ta ta ta ta ta ta.

Raindrops small

Downward fall,

X 父音練習並にアクセント

P-p-p-p, P-p-p-p, P-p-p-p,

T-t-t-t, T-t-t-t, T-t-t-t, T-t-t-t,

K-k-k-k, K-k-k-k, K-k-k-k, M——,

同一の方法で b s d-n: f s th-e: v z th-o-

XI 區別並にアクセント練習

Tat tat too

Tat tat too

Tat tatty tatty tatty

Tat tat too

また *dad, hab, gag, hap, kat, rap, sas, man, nan* を同一方法で練習する。

bä dä; fe te; na pa; fū dū.

see saw; she saw; she sells sea shells.

XII 母韻

舌を後方に退け、その尖端を下顎の齒に接せしめて、前に掲げた *Humbly* *oo-o-aw-ah* の練習を行ふ。また *ah ay ee aw oh oo; ahay eaw ohoo; ahayee awoho; ahayeeawohoo* を用ひて練習せしめる。

單父音または複父音との結合には唱歌を用ひしめる。(以下唱歌に關するもの故略。)

因に言ふ、同校には特別音楽として、特に聾兒の爲に選定したものがある。また同校の永い間の經驗によれば、前述の練習は、一週に一回または二回はしめるよりも、毎日十五分ぐらゐづゝ行はしめるが有効であるといふ。

聾學校に於ける教授は、學年によつて差異すること勿論であるが、こゝに北カロリナ州立聾學校に於ける第四學年の時間割を例に擧げて見れば、次の如

時間割

くである。

8:00 — 8:05	……	祈 禱
8:05 — 8:30	……	自習時間の仕事の検閱
8:30 — 9:30	……	原語 (Original Language)
9:30 — 10:00	……	算 術
10:00 — 10:30	……	地 理
10:30 — 11:00	……	自由學習
		休 息
11:20 — 12:20	……	談話、物語 (一週二回)
		讀書 (一週三回)
12:50 — 1:30	……	算 術

備考 こゝにいふ原語とは普通人の用ふる言語の意味で新聞雜誌手紙(月、金) 畫語(水) 繪又は人についての記事(火、木)等を指す
午後は實科即ち實業陶冶の科目の學習である

聾兒の音楽

聾兒に音楽を教へるといへば、何人も不思議に思ふであらうが事實は世界各國ともこれを教へまたは歌はしめて居る。なほまた音楽は音に彼等に歌はしめる爲ばかりではなく、律動の觀念を養ふ爲、また音の高低強弱を知らし

めて言語に利用せしめる爲にこれを授ける。何人も知る如く、聾者とても振動は感じ得る。こは聾學校に於て、教師が兒童の喧噪を制する爲に鞭を振つてビューと音をさせ、または足で床上をトン／＼と叩いて音をさせるによつても分かる。彼等は孰れもいふ「吾々は聞くことは出来ぬ。しかし振動のみは感じ能ふ。」と蓋し振動は鼓膜によらずとも、頭骨その他身體内の筋骨を通して神經に達することが出来るからであらう。この振動を利用して、彼等の聴覺の缺陷を補ふといふが音楽を彼等に授ける理由の一つである。

律動の觀念を授けるには、兒童をして兩手を開いて掌をピアノに平らかに觸れしめ、同時に目を閉ぢて額をもピアノに觸れしめる。斯くて教師が奏樂すれば、兒童はその振動を感じ、感じ得た所はこれを身振手振にて様々に客觀化せしめる。余はセントルキ市の聾學校に於て、習ひ初の兒童を見たことがあるが、教師がたま／＼弾琴した真似だけして彼等を欺かうとしても、彼等は中々に欺かれないのを見た。彼等は彈琴の間または彈琴するまでは、頭をピアノに附けて居るが、彈琴が濟めば頭を挙げ、目を開いて先を争つて舉手し、感じ得た所を現はさうとした。

じ得た所を現はさうとした。

律動の觀念はこれを様々の業に應用するが、舞蹈に應用するが最も多い。彼等聾兒も普通兒の如く、音楽に合はせて舞蹈する。勿論音楽は彼等には聞こえない。しかし彼等は決して拍子外れの動作をしない。これ全く心的律動によるものである。余は英國滯在中、ロンドン市のオークロッヂ女子聾學校參觀の際、舞蹈を見せられたが、各國のダンスを誤りなく演じ、しかもその巧妙なるには驚いた。余は米英佛三國に於て、女子の舞蹈を見たる回数を決して少くなかつたが、この校の如く深く感じた事はなかつた。

舞蹈の外體操兵式教練、ボーイスカウト、ガールスカウト等の行進等にもこれを利用する。彼等は樂隊の奏樂に合せて行進する。しかもその歩調を誤らないのは、全くこの心的律動によるものである。

音楽を國語に利用するはその調子即ち音の高低強弱音色等を知らしめるに始まる。これについて、余が滯米中ウオシントン市のケンデルスクールフオーザデフにて見た所を以て例して見れば、初年級生はピアノに頭を押しつ

けて振動を感知すること前に述べた所の如くであるが、中年級以上になれば、楽器を離れて教師には後向きに立ち、目を閉じて演奏を聞く。演奏終れば向き直り、目を開いて挙手する。斯くて指名された児童は手真似で音の高低または強弱を折線で空中に書き出す。もしその児の爲す所に誤があれば他の児は争つてこれを訂正する。また音色を感別せしめる爲、同じく児童をして背面して立たしめ、教師は笛太鼓鈴等の器具を鳴らして聞かしめる。音響が止めば、児童は向き直つて挙手し、教師の許可を得た児童は許多の翫弄樂器の中から、己の感知した樂器を選び出し、感知した通りにそれを奏する。もし誤があれば、他の児がまた指されてこれを訂正する。校長は言ふこの音色の識別は、對話文の朗讀または演劇の際に用があり、高低強弱は日常の英語を授くる上に、極めて用が多い、英語にはアクセントが必要な要素になつて居るが、これは全くこの音樂から導くものであると。ついで児童は樂器に合わせて列を作つて行進したが、演奏の緩急に伴つて歩調を緩急に、演奏止めば一齊に停止し、演奏始まれば再び行進を始め、緊張し切つた顔付で、普通聽力を有する人と

讀書

餘りに異らない動作を振舞うて當日開催の父兄會出席者に見せた。父兄の内には、涕を流して居るものもあつた。



言語の教授は聾教育の中心事業であるが、児童の能力如何によつて、その成績の差が著しく異なる。天稟の

豊かなるものまたは生後一度

縫言語を使用した経験があり、そ

の後疾病または怪我の爲に聽

力を失つたものであれば、比較

的に容易に言語を教へ込むこ

とが出来ると。中には普通兒と

異なることのないまでの度合の明瞭さ巧妙さを以て言語を操つることの出来るもあるが、否るに於ては、ブロークンは免れない。それでも、口語を使用して普通人と交際が出来れば、彼等の幸福は甚だ大なる譯である。讀唇法も亦兒童の天賦によること大なるものである。觀察の鋭敏な、悟りの早い兒童にあ

つては驚くべき程の熟練さを見せる。

職業陶冶としては印刷洋服裁縫家事手藝製靴麵麩製造木工金工タイプライター使用繪畫等を授けるが多い。彼等には音楽の外は如何なる業でも出



印刷

来ないものはない。米國には聾人専門學校がある故能力の豊なるものは進んでこれに入學するが然らざるもの並に他の諸國に於ては聾學校在學中に自活し得るまでに徹底した職業教育を施こして居る。

學校の構内には廣大なる地面を有し園藝牧畜果樹栽培等をなさしめるもある。寄宿舎に於ては幸福なる生活といふことをモットーとして諸種の會合が催ふされ講堂では活動寫眞や演劇や假裝會が催ふされ禮拜堂に於ては宗教上の儀式が催ふされる。

		午 前	時 分		
第七章 聴覚障害者の教育	起 床(生徒).....	6:15			
	朝 食(生徒).....	7:00			
	同 (教師).....	7:00	土曜 日曜	8:00	
	學 校(年長生).....	8:30—1:15	(午後)		
	同 (年少生).....	8:30—1:00	(午後)		
	休息及おやつ(年少生)....	10:45—11:00			
			時 分		
	晝 食(生徒).....	1:30	日曜	12:30	
	同 (教師).....	1:30	五	1:00	
	實 業.....	2:30—4:30	土曜	8:00—12:00	
夕 食(生徒).....	5:40	日曜	5:30		
同 (教師).....	6:00				
自 習.....	7:00—8:00				
就 眠(第一班).....	7:00				
同 (第二班).....	8:00				
同 (第三班).....	9:00				
寺詣り及び日曜學校(舊教).....	日曜	9:00—11:00	(午前)		
宗教教授(舊教).....	土曜	4:30	(午後)		
日曜學校(新教).....	日曜	9:00—10:00	(午前)		
寺詣り(新教).....	日曜	10:45—12:00	(午前)		

晝間學校



泳

水

いま日常の生活振りを米國ロードアイランド州立聾學校の時間表について示せば前表の如くである。

晝間學校及晝間學級——この節の初に述べた如き理由の下に、特に大都市に於ては晝間學校を設け、或は在來の寄宿學校を晝間學校に變改するが昨今の傾向である。尤も郡村にあつては、兒童數が少く特別な晝間學校または學級を設置することが不可能である故に、州縣立又は國立の聾學校に兒童を送るか、市立の學校に委託するかが常である。それ故晝間學校を原則とするとしても、尙若干の寄宿生をおく學校の存するは、自然の結果といはねばならぬ。ロンドン市は、晝間學校六校、寄宿學校二校、生徒數



ガールスカウト

六百九十人を有して居つた。米國には、諸方にこれがある。特に中東部地方に多い。前に述べたファイラデルフィヤ市にある聾兒言語練習園には、就學期即ち滿六歳を過ぎた兒童の學級もあるが、その最上級は十一二歳で、普通の小學校第四學年相當の課程であつたが、七月には皆普通の小學校に移すといつて居つた。從來この校の成績は有名なもので、兒童を普通の小學校に入れ、ても何等引けを取らぬので、校長は歐洲諸國に聘せられて講演に赴いたことが二十四回あると言つて居

つた。

特別學級として、普通の小學校内に附設し、第三學年頃までに讀唇法並に發音法を教へ、第四學年以上は普通の兒童と共學せしめる式を取るが、米國にある。これを中心といふ。余が米國訪問の際に、シカゴ市にはこの中心が四箇所にあつた。

晝間學校にすれば、兒童の通學距離が遠くなる虞がある。これが爲市では電車賃を給與して居ること、盲兒の場合と異なる所がない。目が利く爲に遠路の電車通學も盲兒よりは容易である。

専門學校

専門學校——聾人にして能力あるものには、中等教育以上の教育を受けしめるが最も望ましい所であるが、世界一般は未だそれまでに進んで居ない。英國の聾教育者は、孰れも同國人が未だ聾人に注意すること少く、唯早く職業教育を施して自活せしめようとするにのみ没頭して居るを慨嘆して居る。米國には、唯一つの専門學校がある。それは Gallaudet College for the Deaf と呼び、ウオシントン市にある。豫科一年本科四年で、豫科の學科目は英語、拉典

	第一學期	第二學期	第三學期
豫科	平面幾何(3) 高等代數(2)	平面幾何(3) 高等代數(2)	平面幾何
	拉典	拉典	拉典
	英作文(3) 古代史(2)	英作文(3) 古代史(2)	英作文(3) 古代史(2)
	圖書館業(1) 圖書畫(1)	圖書館業(1) 圖書畫(1)	圖書館業(1) 圖書畫(1)
本科第一學年	平面三角術(3) 立體幾何(2)	平面三角術(3) 立體幾何(2)	機械學
	シーザー	シーザー	シセロ
	英作文(3) 中世史(2)	英作文 中世史	英作文(2) 中世史(3)
	執務法(2) 圖書畫(2)	營業法(2) 圖書畫(2)	圖書畫(2) 正善生活法(2) 又は 平面測量法
同第二學年	物理	物理	植物
	化學	化學	定性分析
	英作文(1) 修辭(3) 演說(1)	英作文(1) 修辭(3) 演說(1)	英作文(1) 修辭(3) 演說(1)
	農業 圖書館目錄法又は 家政術(2)	農業 圖書館目錄法又は 家政術(2)	農業 圖書館目錄法又は 家政術
同第三學年	佛語	佛語	佛語
	生理	動物	米國政事史
	哲學	英文學	倫理學及政治經濟又は 電氣學
	化學又は農業 家政術又は圖書館 目錄法(2)	化學又は農業 家政術又は圖書館 目錄法(2)	化學又は農業 家政術又は圖書館 目錄法
同第四學年	西班牙語	西班牙語	西班牙語
	商法	天文	礦物及地質學
	論理	共和政治及び萬國 公法	心理學

備考 括弧内は毎週教授時間數

課程

選擇科目

語平面幾何代數古代史圖畫である。本科はまた語學科(古代並に現代)數學科(物理科)歷史科哲學及政治學實業の六科に分かれて居る。今一九一九——一九二〇年度の課程一覽表を舉げて見れば、前表の如くである。

此外に希臘語數學(解析幾何微積分等)電氣學(ジェネレーター、モーター)化學(土壤及肥料論)高等定性分析定量分析有機化學化學的調製法定質鑛物學鑛物分析)高等技藝及び圖案衣裝の歴史製籃織物押し物——以上男女とも——製帽棒編鈎編刺繡——以上女子のみ——等を選択科目として居る。入學試験は英語數學歷史理科等についてこれを行ひ、卒業者にはパチエラーオブアーツ、パチエラーオブサイエンスの學位を授ける。教授法としては結合法を用ひて居つた。余は其故を尋ねた所、聾學校が未だ全部純口語主義を採用しない爲、結合法を用ふるを餘儀なくされて居ると校長は言つた。拉典語佛蘭西語の英譯または英語の拉典譯佛譯など中々の成績であつた。聾なる爲、却つて綴字に誤りは少いが英佛語のサイレントは同じく彼等にも重荷であるとのことであつた。化學の教師はその卒業生の就職について、未だ苦しんだこ

教員養成科

低能聾

とがないと誇つて居つた。聞けば、化學を修めたものは、藥局または染織工場に傭はれるが多いと。教師曰く、研究するには聾なる方都合よし。」と、余が參觀の當時は、卒業式の翌日であつたが、二人の學生は赴任までに尙時日があるといつて、試験管を眺めて、一心不亂に研究して居つた。女子の刺繡は中々に見事な出来榮で、製帽は市中に賣り出すといふことであつた。

此校には聾學校教員養成科がある。普通の専門學校または大學卒業者で、明を有する者に一箇年の教育を施して、地方の聾學校中學部の教師にするのである。

低能聾童——低能はあらゆる兒童の内に存在する。聾にして低能なるものを、否るものと混合して居つては、双方の爲に不利である故に、分離して別學級を造らしめる。孰れの聾學校を訪問して見ても、低能學級といふものがある。ロンドン市のヴェルサイユロードスクールフォーザブラインドボーイズには、六箇月間洋服のボタンの孔をかゞる練習をなして居るが、未だに出来ないといふ十四五歳の兒童があつた。

第二節 亞聾の教育

亞聾の意義

こゝに亞聾とは聴力がなほ幾分残存して居るものを總稱するのである。普通に重聴といひ俗に金挺聾といひ、また半聾 Half Deaf 部聾 Partial Deaf など稱するものは、概ねこれに屬する。

聴力は兩耳に残存するもあり、また一耳に残存するもある。その残存の程度は種々様々であるが、一間以上離れて普通の話し聲の聞き取れないものは、すべて亞聾の内に數へる。從來この種の兒童は聾學校で全聾と伍して教育を受け、あるひは普通の小學校で普通兒の間に交つて教育を受けて居つたが、孰れも彼等に適した教育ではない。即ち、全聾の間に混じられては折角残存して居る聴力を利用することが出來ず、普通兒の間に混じられては假令教壇に近き座席を與へられても、教師の言ふ所を完全に聞き取ることが出來ない故に、教授によつて己を利することは少い。これが爲、近年西洋諸國に於ては、この種の兒童を兩校より分離して、特別な學級を編制する傾向になつて居る。

亞聾の分離

聴力増進練習



第七章 聴覺障害者の教育

聴覺練習

この學級は聾學校内に附設せられる場合もあるが、また普通の小學校に附設せられる場合もある。ロンドン市には、この種の學級が三箇所にある。その内の二箇所は、たゞ一學級を有するのみであつたが、他の一箇所のスタンリイストリートスクールは、三學級五十餘人の兒童を有して居つた。下級は十二人、中級は十六人、上級は十一人。またヴェルサイユロードスクールフォザデフボイスの最上級は、二人の全聾を有するのみで、他は皆亞聾であつたが、その全聾は亞聾と少しも異なる所のない成績を示して居つた。

残存せる聴力は、これを練習によつて漸

次その力を恢復し、普通の聴力に近づかしめることが出来る。少くとも、多少進歩せしめることが出来る。これが爲獨逸に於ては、前圖に示すやうなフィールフェラーを用ひ、毎日十分乃至十五分間ぐらゐ練習せしめる。尤も聴力練習は、今一層簡易な方法でも行ふことが出来る。即ち、靜肅な場所において兒童をして教師に背面して立たしめ、教師は普通の音聲で談話し、彼等をして耳に深厚な注意を拂はしめる。斯くて聴力の増進に従つて、漸次距離を遠くする。あるひはまた懐中時計を人の聲に代用するもよい。前陳のスタンリーストリートスクールはこの法を採用して居つた。

聴力の進歩は、二週に一回ぐらゐこれを検査し、その成績をカーヴに現はす。多くの経験者の言ふ所によれば、亞聾は多く神経質で、その精神は外界の氣壓氣温等に左右せられ易い。従つてその聴力も日によつて異なる。今日は進んで居るかと思へば、明日は退歩する。これをカーヴに現はして見れば、高低の差の著しいのに驚く。とのことである。聴力が普通に復し、數箇月間退歩しないものは、治癒したものととして普通の小學校に戻らしめる。また、聴力が退

歩する傾向のあるものは、耳科醫の手に委して治療せしめる。この種の學級には、聾學校同様、耳科醫が付き添つて居り、毎日または隔日に治療をすること、恰も盲學校盲學級に於ける眼科醫の如くである。聴力は進歩しないが、耳に他の異狀がなく、また讀唇法に熟達して、普通の交際に差支ない程度になつたものも、等しく普通の小學校に戻らしめる。また、聴力は殘存して居るが、極めて微弱で、殆んど用をなさない、しかもそれ以上に進歩の望なきものは、これを聾學校、または聾學級に轉學せしめる。

小學校に附設した亞聾學級に於ては、聴覺の練習をなす外に、耳に訴へる學科の教授をなす。眼に訴へる學科の教授は、これを普通の學級に於て普通兒童に伍して受けしめる。亞聾學級の學科の内には、無論讀唇法もあり發音法もある。頭のよい兒童はその耳に斷片的に聞こえる所と、眼に見える發音器の運動とを總合して、よく他人の言語を解する。また、殘存聴力に訴へ、教師は兒童の耳元に口を寄せて發音法を教へ得る故、彼等はアクセントも音感も、耳の聞こえる人と露違はぬやうな、綺麗な言語を發し得る。斯くて、小學校三年間

ぐらゐを亞聾學級に費やさしめれば、四年以上は、全然普通學級に戻らしめて差支ない兒童がある。

亞聾は全聾よりも嫉けの上に困難を感じる。これ、全聾は全く聞く所がない故、他人の言語に對して不關焉たることが出来るが。亞聾は慙ひに斷片的な音聲が聞き取れる故、外界に對して僻みを生じ、他人が己を嘲つたではないか。故らに己に分からぬやうに話をするのではないかと邪推し、爲に神経質になり易い。斯るが故に、この種の兒童教育に携はるものには、他人の想像も及ばぬ苦心があるといふことである。

第八章 言語障碍者の教育

言語障碍の種類

言語障碍の種類——こゝに言語障碍と稱するは、主として、普通に所謂吃音（ボクアルン）發音不能等の如き正しい發音の出来ないものを指すのであるが、また、アウロマチズム 文語等の如き、發音は出来ても全體としての發表の異常なるもの（もしこれを

も障碍と稱するならば極めて軽度なものから、異常の極めて重度のものたる失語症までを、この名稱の下に總括する人もある。また前節の初めに述べた聽啞、即ち耳は聞こえても言語を操ることの出来ないものをも、この内に含めるは普通である。

吃音の種類

吃音 Stottern には二種ある。その一を搖擗性吃音 Klonische stottern とし、他の一を強直性吃音 Tonische stottern としふ。（我國では故伊澤修二先生が前者を連發性吃音、後者を難發性吃音と命名して以來、この語が通語になつて居る。）搖擗性吃音といふのは、例へば berry といふ語を發音するに b-b-b-berry といふ類で、強直性吃音といふのは、語の初が詰まつて、努めても悶えても出来ないものをいふ。スクリプチュア氏は、語の中間で詰まるものもあるといつて居る。（伊澤先生は、これを中阻性と命名して居る。）が、これは別に一種と見做すべきものではない。その本質に於ては、前二者の孰れかに屬すべきものである。

發音不能の種類

發音不能 Stammeln にも亦種々ある。K G の發音の出来ないものをガンマ

シスミス Gammacismus といひ、これらの音の代りに、他の音を以てする例へば s の代りに d を用ひ、gebe を debe と發音するをパラガンシスミス Paragammacismus といふ。また S J 等の發音の出来ないものをジグマシスミス Sigmacismus といひ、それらの代りに他の音を以てするをパラジグマシスミス Parasigmacismus といふ。また T D Z 等の發音の出来ないものをツエタシスミス Zetacismus といひ、それらの音の代りに他の音を用ひるものには、前例の如く Para を冠して、バラツエタシスミスといふ。L の發音の出来ないものをランブタシスミス Lambdacismus といひ、R の發音の出来ないものをロータシスミス Rhotacismus といひ、それ等の音に他の音を代用するに對しては Para といふ接頭語を冠して呼ぶこと、前例の如くである。また N の發音の出来ないものを鼻聲 Naseln といふ。これにも二種類ある。その一は鼻の塞がつて居る爲、發音の出来ないもので、これを壅塞性鼻聲 Geschlossene Naseln といひ、他の一は鼻の奥が明き過ぎて居る爲、N の音の不明なもので、これを開放性鼻聲 Offene Naseln とす。

失語の種類

失語 Aphasie にも種々ある。他人の言語の意味の分からなくなつたものを感覺性失語といひ、自らの思想を發表すべき語を忘失したものを運動性失語といふ。運動性失語の内には、口言葉を忘れて復現出来ないもあり、文字の読み方を忘れて復現出来ないものもある。

言語矯正機關

矯正機關——言語矯正の爲、各國とも注意はして居るが、最も大規模に實行して居るは、恐らく米國ニューヨーク市であらう。同市には、教育課内に デパートメント 言語改 良 部 といふがあつて、ニューヨーク大學教授メルチン博士が部長となり、三箇の臨床講義所を管理して居る。各臨床講義所には、主任があつて、毎週一回區内の言語矯正教師が、己の兒童を伴うてこゝに集まり、自ら矯正法を施して、主任の實地指導を受ける。また、メルチン博士が親しく臨檢指導することもある。毎土曜日午後には、ニューヨーク大學に同博士の臨床講義がある。市内には三校に、一校宛の割合で、言語矯正學級をおき、その數すべて八十三、この學級擔任教師は、毎週二回兒童の放課後に矯正練習をなす。なほニューヨーク大學内には、言語矯正事業に携はる教員養成科がある。入學希望者は、概ね

小學校教員である。

フィラデルフィア市でも、児童の言語矯正機關を有して居る。即ち毎金曜日午後二時から五時まで、ペンシルヴェニア大學に於てチットマイヤー博士の臨床講義がある。教師はその矯正に當つて居る児童の内一人を伴うて同校に至り、親しく同博士並にハンプストン博士の指導を受けて居る。余が同大學訪問の當時、十五歳の一男兒、*W.*といふ語の外はすべて *Rr* を以て發表するが、その母に伴はれて臨床講義室を訪づれた。こは所謂聽啞である。チットマイヤー博士は、これに十數回矯正術を施して、*パバ、ママ、ホーム* 等二三の語を操つり得るに至らしめたのを見た。

シンシナチ市には臨床講義所はないが、熟練な巡回教師があつて、日を定めて放課後一定の學校に言語障礙兒を集めてその矯正を計りつゝあつた。英國のマンチェスター市にも、吃音矯正の學級が設けられてある。

ロンドン市には、千二百の言語障礙兒があるであらうとのことであるが、その内四百人が矯正教育を受けて居つた。例により中心式で一學級児童數は

十二人とし、障礙兒の最も多き學校にこれをおき、その近傍の學校の児童をこれに集める。余がロンドン訪問の當時は、この中心が六箇あつた。児童は一週二回この中心に集まり、一時間と四分の一宛練習教授を受けて居つた。教場としては、明きの教場即ち普通の生徒が手工料理等の授業の爲、特別教室に去つた後を利用して居つた。

矯正法

矯正法——言語障礙の種類は種々様々である。従つてこれを矯正するには、その種類によつて方法を異にせねばならぬこと勿論であるが、こゝには細論するを止め、各矯正所で用ひて居る外見的方法の要點を擧げて見よう。

チットマイヤー博士は、英語の母韻はすべて三角形の孰れかの一邊中に位置するものとして居る。三角形の一角に位置するが *e* で、他の二角に位置するは *a* と *o* とである。*a* は口を開いて發音するもの、*e* は口角を左右上方に釣り上げて發音するもの、*o* は口を圓く閉ぢるやうにして音を突き出すもの、その他の母韻即ち *i u ä a ö y* 及び複合母韻等は、孰れもこれら兩音の間に位置すべきものである。従つて、發音の練習は、先 *a e o* の三音より始むべきで

あると言つて a を「開け」e を「ほゞえめ」o を「突き出せ」といひつゝ、その口形を形成せしめて居る。またこの考の上に組立てられた練習書があり、第一課から漸次に練習せしめて居る。

メルチン博士の父音の發音法は、他の一般に使用せられて居るものと異り、簡單で要を得、またその考へ方も一新機軸を出したもののやうに見える。ここにその發音練習法の大要を舉げて見れば、次の如くである。

呼吸練習

(一)胸を開き空氣を十分に吸ひて、(二)兩腕を頭上に舉げつゝ、(三)胸を指先で輕打しつゝ。

矯正練習

(一)腕を外方に轉じ、肩を開きつゝ。(二)拳を握り、腕を肩と水平の高さで廻轉しつゝ。(三)肘を肩と水平の高さに舉げ、手を胸から頭の後に強く押し進めつゝ。(四)腕を肩と水平の高さに舉げ、上體を左側右側に、次に交互に左右に曲げつゝ。(五)兩手を頭上に舉げ、膝を曲ぐることなく、手先が床に

つくまで體を曲げる。(六)兩手を臀部におき、頭を側方に轉ず。

發音體操

第一肺の力をつける爲、第二發音機關を發達せしめる爲、第三正しい音を産出し、正しい發音機關の位置を知らしめる爲、第四滿ちた圓らかな開いた口で話さしめる爲に、次の發音練習をなす。

ah, a, ee, aw, oh, oo

aha, aee, eaw, awoh, ohoo

ahae, aeaw, eawoh, awohoo

ahaeaw, aeawoh, eawohoo

ahaeawohoo, aeawohoo

ooahweeah

舌の體操

(一)舌を出し、上方鼻に近づける。(二)舌を出し、下方頤に近づける。(三)舌を左口角から上唇に沿うて左に廻はす。(四)舌を左口角から始め、上唇に沿

うて右に廻はす。(五)舌尖を上方に擧げる。(六)舌尖を下方に巻く。(七)舌を上顎につける。(八)舌を植状にして口外に突き出す。(九)懸壜垂を上げ下げる。

發音練習

M (唇を閉ぢ、聲を鼻から噴き出しつゝ) arm, am, mama, mm, may, me, make, meat 等の發音。

1. Moo, moo, moo.
 2. A man made a mat.
 3. Mama made my maff.
 4. Many more men may march.
 5. Miss miller met mary mark.
 6. Moor's music made our men march.
 7. May men made much music at a milkmaid's merry marriage.
- P (唇を軽く閉ぢ、急に息を吹き出せ。)

apple, papa, pay, pan, pie, pipe, pump, pupil, の發音。

1. Peep, peep, peep.
2. Mew, mew, mew, pus, pus, pus.
3. Peter paid a penny.
4. Pete put a pipe on my porch.
5. I made paul mix a pint of paint.
6. Put a piece of paper on our milk-pail.
7. Peg made many pies in pans.

B (唇を閉ぢ、喉にて振動を起し、然る後急に息を吹き出せ。)

Box, baby, bat, ball, bib, bite, bell, book.

1. Baa, baa, baa.
2. Bye, Bye, baby boy.
3. Big boys bought a bat and a ball.
4. Bess bought Baby Bell a bib.

5. Our army boys buy many pairs of boots.
6. Many boys made hobs out of boards.
7. Our bark, Bobby B" made many ports.

W (ooの音を出す如く唇を突き出し、發聲體操に於けるよりも一層縮約して口を開き、尋で力強く唇を引き離せ。)

Was, war, we, walk, wall, wood, wet.

1. "Wee, wee, wee," went our pig.
2. Many wolves were awake.
3. Woman wear waisto at work.
4. Wild winds waved our wands.
5. We worked with a will and won.
6. We were working by our wind-mill.
7. More men are wanted was wired by wood.

WH (hをwよりも前に發音せよ。hを落すなかれ。而して wen のやう

に when を發音せよ。)

what, when, wheel, whistle, where, white, whip, why.

1. "Bob white, Bob white" our bird whistled.
2. Where was Bob White?
3. Where is our poor whip-poor-will?
4. What makes windmills whirl?
5. Which boy whistled and which one whispered?
6. One man was always at our wheel while we were whaling.
7. We moored our bark where white waves whashed a wharf.

F (下唇を下顎の齒に接し、障物物を飛ばす如くに息を吹き出せ。)
face, foot, fish, four, fun, fell, fat, fire.

(練習文はこれを略す以下皆同じ。)

V (Fの如き口形をなし、喉で音に振動を加へよ。)

wave, five, move, over, very, van, vase, visit.

TH (軟) (舌尖を上下兩方の齒の間におき、而して息を吹き出せ。)

moth, mouth, bath, thin, thing, thick, thumb, thirst.

TH (硬) (軟かなthの口形をなし、喉で音に振動を加へよ。口は次に來る母韻の爲に直ちに開くを要する。)

whith, father, they, there, the, mother, feather, that.

T (舌尖を口の屋根上齒の直後に接し、急に息を吹き出せ。母韻が次に來る時には、斯く形づくられた小さな口は急に廣げられるを要する。)

bite, meat, boat, two, butter, Tom, top, teeth.

D (tの口形をなし、喉で音に振動を添へよ。)

bad, bed, feed, wood, wind, hide, doll, day.

S (C軟) (上下の齒を殆んど接せんばかりに近づけ、舌尖を少し擧げつゝ、齒の中央部から息を吹き出せ。)

say, sail, see, sister, seven, song, saucer.

Z (sの口形をなし、喉で音に振動を加へよ。)

eyes, was, buzz, easy, toes, visit, dizzy, music.

SH (齒をsの發音の際の位置におき、舌の後部を弓隆にし、息を門齒に吹きかけよ。同時に唇を突き出せ。)

dish, shame, she, shoe, ship, shine, sure, ocean.

CH (chはtとshとの結合である。tからshに飛んで急に停止せよ。)

March, watch, match, cheese, chalk, chew, chair, church.

J (chの口形をなし、喉で音の振動を加へよ。)

age, John, George, juicy, jam, joy, jump, June.

L (舌を上口蓋に擧げ以て音を逃げ出さしめよ。)

ball, lady, leaf, July, laugh, love, light, lamp.

R (舌の側邊を擧げ、音に振動を帯びて逃げ出でしめよ。)

rain, room, rabbit, rat, red, ring, right, run.

N (舌を口の屋根に接し、鼻から音を吹き出せ。)

fun, nine, name, no, new, nap, knife, nut.

NG (唇と齒とを明け放し、舌尖を下齒に推し着け、鼻からnの發音のやうに連続した振動を出せ。)

hang, sing, ring, wing, ink, tongue, nothing, running.

K又はC(硬) (舌の後方を弓形にし、その上を越して急に息を吐き出せ。)
dark, make, car, cake, key, coat, kitten, kick.

G(硬) (kの發音の口形をなし、喉で音に振動を加へよ。)

egg, go, good, goose, gas, give, girl, gun.

Y (齒と唇とを離し、eeの發音のやうに舌を弓形にし、その上を越して音を吐き出せ。)

yard, year, yell, yes, your, you, young, yellow.

H (齒と唇とを十分に離し、息を出せ。)

Ha, ha, "hair, hoose, home, hand, hat, hen.

第九章 不具兒の教育

不具の意義

こゝに不具とは英語の Cripple 獨語の Krüppel に相當するもので、手無し、ろざりせむしちんば、四肢の痲痺などの如く、運動機關の器質または機能に缺損あるものを總稱するのである。我が國では、盲聾をも不具者の内に含めることがあるが、こゝにはこれらを除外する。而して、斯かる不具者は、大凡何程あるものかといふに、獨逸のビーザルスキー教授は、一九〇六年の統計により、戰爭または怪我の爲に不具となつたものを除いて、獨全國には、十萬の不具者がある。しかもその半數は、十五歳未満のものであるというて居るが、フェルスタ1氏は、こはプロレタリアについての統計である、ブルジョア階級を漁つたならば、恐らく更に五萬の増加を見るであらうと言つて居る。

不具者は、外科醫の協力によらなければ、その幸福を招致することが出来ぬ。それ故、西洋諸國に於ては、概ね外科病院と連絡して教育所を設置して居る。

或はまたこれらは、全く外科醫の領分で、教育者の直接關する所にあらずと考へる人があるかも知れぬが、事實は決して然らず、外科的治療も、精神の教育によつて其效力を増大することは、幾多の經驗の等しく證明する所である。不具者は、一般にその性質が臆病無氣力怠惰で猜疑心強く、人との交際を好まぬものである。これら精神的の缺損は、身體的缺損より來ること勿論であるが、またその反對に、精神的の缺損の爲に、身體的の缺損がより大になる傾向がある。斯るが故に、身體上の缺損を少からしめる上からいふも、教育の必要がある。増して教育期間にある兒童をそのまゝに放棄しおく時には、彼等が天賦の能力、彼等の幸福社會の幸福の爲に利用すべき能力を萎微せしめ終る虞がある。それ故、西洋諸國に於ては、治療機關と教育機關とを唇齒輔車の關係あるものと考へて居る。

託兒所

託兒所——不具兒を有する家庭程不幸なものはない。嘗にその兒が不幸であるのみならず、家族全體が不幸である。温清なるべき家庭の空氣が、これが爲に陰鬱にせられ、家族全體の仕事の能率が、これが爲に低下せられること、



第九章 不具兒の教育

託 兒 所

甚大なるものである。これを救済するが爲に起つたのが、託兒所である。

託兒所は外科病院と連絡を有して居り、施術を要するものは入院せしめる。尤も、この施術は、父兄の承諾を得ねばならぬので、父兄が拒絶すれば、託兒所は施術の有効なるを信じつゝも、父兄の蒙が開かれるまで待たねばならぬ。然し、簡単な治療法即ちマッサージ、電気浴、歩行練習等は、託兒所に於て之を行ふ。託兒所には、普通の保母の外、外科治療専門の看護



癱痺の爲歩行不能



施術室

不具兒學校

婦が居つて、保姆の助力を得て、毎日特種の練習または治療を行ふ。



入所當時



退所當時

託兒所は言ふまでもなく寄宿附である。寢具、玩具、食物、温室、日光浴等の設備の十全なるものが中々に多い。

不具兒學校または學級——學齡期の兒童は、これを學校に收容する。この學校は、外科病院中に附設するもあり、またそれと連絡して別所に設置して居るものもある。校名は普通の小學校の如く、町名を冠して呼ぶもあるが、米國のマサチューセツツ州並にオハヨー州では、病院學校と呼んで居る。英國ロンドン市では、例の如く何々町不具學校と門前に標出して居る。

學校は小學校の課程の上に、中等教育の課程をも附設する。シカゴ市のス

不具兒學級

バルチングスクールの如きは、小學校八學年の上に高等學校の課程を授けて居る、兒童數四百人。シンシナチ市の病院學校には兒童數七十餘人、外に結核性の不具者を收容するブランチホスピタルコロニーが別の場所にある。英國ロンドン市のヴェネチアロード不具學校には、兒童數百三十八人。外に結核兒の爲の露天學校一、兒童數二十四人があつた。同市にはこの外に、尙二箇の不具學校、孰れも兒童數百五六十人なるを有して居つた。マンチエスター市には、寄宿學校晝間學校を合して、百五六十人の兒童を有して居る。

學校とせずして學級とするものがある。これは、米國のニューヨーク市で始めたもので、同市には十九の中心がある。フィラデルフィア市では、これを正身學級 *Orthopedic class* と稱へ、その數九、兒童數百八十八人を有して居つた。またクリーブランド市、デトロイト市等にもこの學級がある。ロンドン市には、小兒科病院内に不具兒教育所を設けたるが三箇所あり、市から教員と教具とを備へておつた。この外に、二箇の不具學校があつて、年長の兒童に教育を施して居つた。



送迎馬車

兒童の通學距離は著しく遠く、六七哩なるもある。それ故各市には、兒童送迎の爲の電車または馬車が用意されて居る。車内にはまた特別の設備がしてある。例へば體の前屈者には、車體の動搖の爲前方に轉がらぬやう背靠より革紐が出で、上體を乳の邊で背靠に括りつける。また首の前に落ちるものには、天井から首載せ臺が下がつて首を正しく保たしめ、片足に添木をして居るものには、腰掛の座面が半ば外づれて足の裏が床面に着くに便するが如きである。斯るが故に、各兒童の座席は一定して居つて、他人の犯すを許さない。兒童は家庭から家人または御者に抱かれて乗車

し、自ら歩行し得るものは、手推車または松葉杖によつて、立關から馬車自動車の入口に架した棧道を辿つて車内の座席に着く。校門に着けば、棧橋は再び立關に架けられ、児童は乗車の時と同じやうに下車する。斯の如くなるが故に、児童の登校下校の際には、馬車自動車、馬車自動車が門前市をなして、門標を見ないでも遠方からしてその不具兒學校たることが知られ得る。

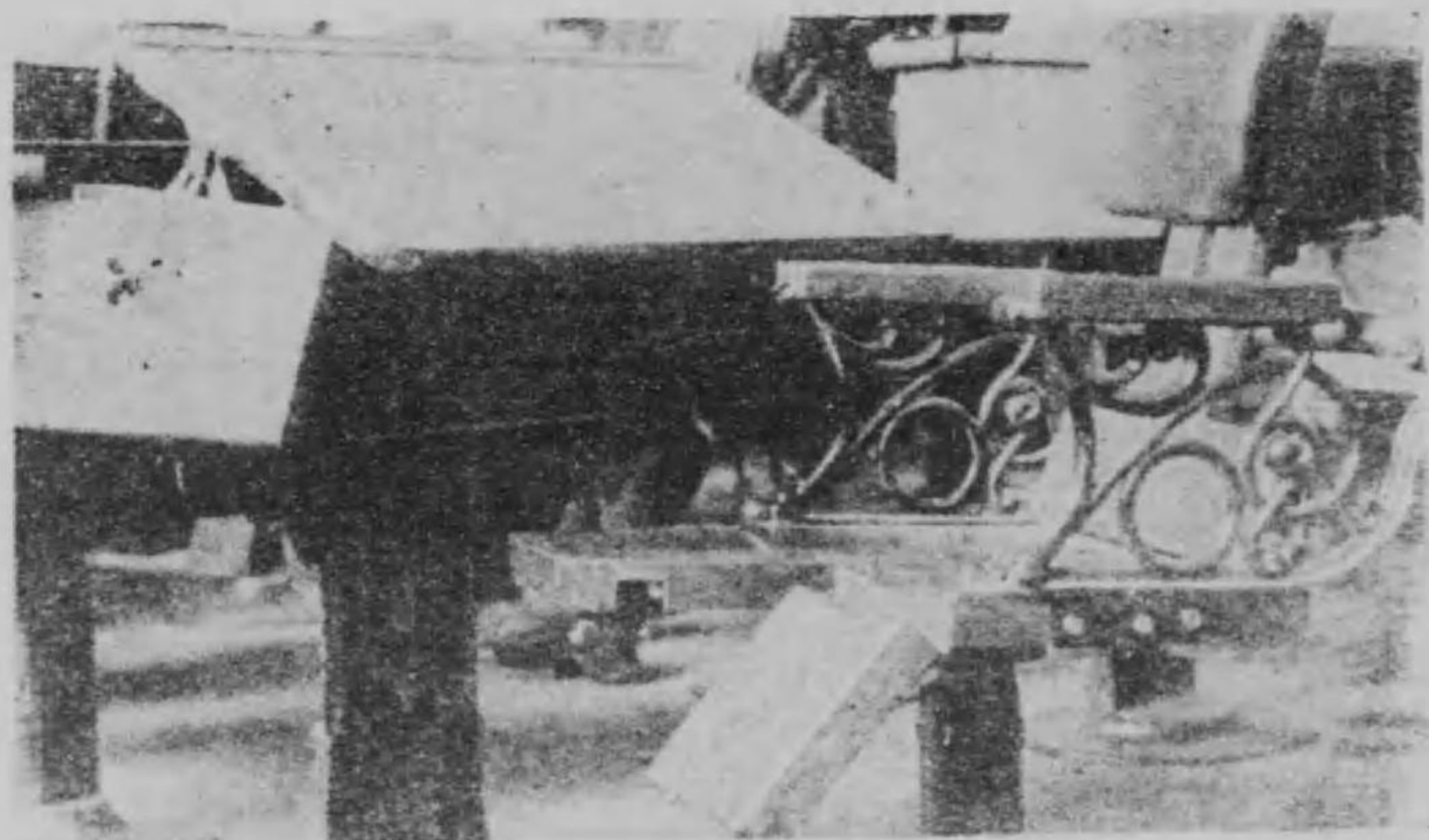
教室は二階以上に設けないを原則とするが、萬に一事情が許さない場合には、歩行の自由なる児童だけに二階以上の教室を與へる。前述のシンシナチ市の病院學校は、四階建の外科病院の屋上にあるが、児童は自らエレヴェーターを操つて昇降して居る。教室にはマツサージ電氣浴その他小施術用の醫務室が隣して居り、また日光浴場の設もあるもある。なほ校舎は、防火建築になつて居る所もあるが、否るに於ては、非常口を多數に設け、二階以上に教室を設けた學校にあつては、緩句倍の長い棧道を常設し、非常口を出でれば、自ら安らかな距離に導くやうな構造にして居る。

教室の採光は、普通の児童の教室に於けるよりも一層注意し、視力保護學級

校舎

机腰掛

學科



第九章 不具兒の教育

机 及 腰 掛

の如く、天井より明を採つたものもある。机腰掛がまた児童の缺陷に従つて特別な構造を有して居る。即ち、片足に搏木をして居る児童の爲には、腰掛座面が蝶番の仕掛で四分の一だけ缺けて下がるやうになつて居り、首が前に落ちる者の爲には、背靠から首受け臺が出て居り、或は寫眞屋の頭受け様の装置が背靠について居る。軟骨病者には、その體を背靠に緊縛するやう、幅の廣い革紐が備へてある。

學科目は児童の缺損如何によつて、學習不能のものもあるが、普通の學科目は成るべくこれを課することにして居る。



教室



競走



料理

従つて、體操もすれば學校園作業もする、また演劇もすれば料理もする。兒童の將來から言へば、手業を授けて、幾分なりとも生活の資を得る助けとなさしめるが望ましい。それ故、兒童の性能と身體の事情とによつて、各々それに適した手業を授けるが一般である。余がロンドン市ヴェネチアロードスクール參觀の際、一人の片腕のない兒童が、他の片腕の手に僅に残つて居る、五分程くらゐの突起状の人差指と中指との間に鉛筆を挿んで、手早く而も巧みに寫生して居るを見た。教師に聞けばこの兒は畫に巧なる故、將來ボンチ畫家にする積である。

病院内の出張所



強勉の上の養育

それが爲、他の兒よりも圖畫の時間を多くして居るといふことであつた。また、シンシチナ市病院學校では、一兒が右手に残つた六七分の人差指で、土瓶敷を織つて居るを見た。足が不自由で、手の自由の利くものには、坐業を以て身を立てしめる爲、裁縫、刺繡、彫刻、繪畫、タイプライター、籠細工等を教へ多少なりとも足の利くものには、木工、機械等をも授けるが、何所にも見られる所である。大施術の必要ある兒童は、病院に移す。去りながら、病院で無爲に就學せしめるは、彼等の苦痛を増す所以

醫師看護婦の訪問

食物

である故に、時間を定めて、寢臺の上で稽古せしめる。それ故、不具學校の教師には、學校附のものと病院附のものがある。最早入院の要はない、後は細帯の取替へマツサージ電氣浴等で治療し得るといふ見込の兒童は、學校に戻し、學校に於て教育しつつ、治療を続け、最早この上治療の見込なし、而も普通の兒童に混じつて教育するも差支ないといふ見込の立つた兒童は、更に普通の小學校に送り戻す。それ故、西洋の普通の小學校には、足に搏木をして居る兒童、片方の靴底の高い兒童などを見ることが往々ある。されど、この上の治療は望なしとするも、不具の度合が到底普通の學校に於て普通の兒童と共學せしめることの不可能なるものは、永く不具學校に留めて職業陶冶を施す。

學校には、齒科治療室の設けがあつて、毎週二回位齒科専門醫の見舞ふがあり、また内科醫の見舞ふもある。看護婦は付き切りであるが、最早治療の餘地のない兒童のみを集めた學校に於ては、隔日ぐらゐりに看護婦の見舞うもある。また看護婦を體育掛として、食物の世話までなさしめる所もある。食物としては、温かな滋養ある晝食は勿論、午前と午後とに一回宛牛肉にクラッカー二



片又はバタ附のパン一片ぐらゐを攝らしめるが常である。

治療體操

學校に於ける治療は、隔日に數分間のマツザージ、十數分の電氣浴、數十分の日光浴などが主である。元來關節炎や軟骨病には結核性のものが多い、唯その結核が、筋肉に包まれて居る爲、他に傳染の虞がないだけである。それ故、これらには日光浴をなさしめる。またアトロヒイを來した手足を太らせ、短かくなつた手足を伸ばさせる爲には、電氣またはマツザージによつて筋肉を刺戟し、骨端



冬季の午睡

即ち骨の發育點を刺戟する。また立つやうになつたゐざりには、歩行を教へてそれに慣らす。これらが看護婦の毎日の仕事である。

兒童中、關節炎等で結核の症狀著しいものは、これを別の學級に移し、宛も次々節に述べる如き病兒と同じ取扱をする。また、能力の低弱なものは、これ亦別種の學級として、特別の取扱をする。

後護——教育も治療も濟んだが、普通人の間に伍して生存競争をなさしめることの出来ないものに對しては、後護の事業が諸方に講ぜられて居る。西洋諸國には、従前慈善團體が多く、この不具者

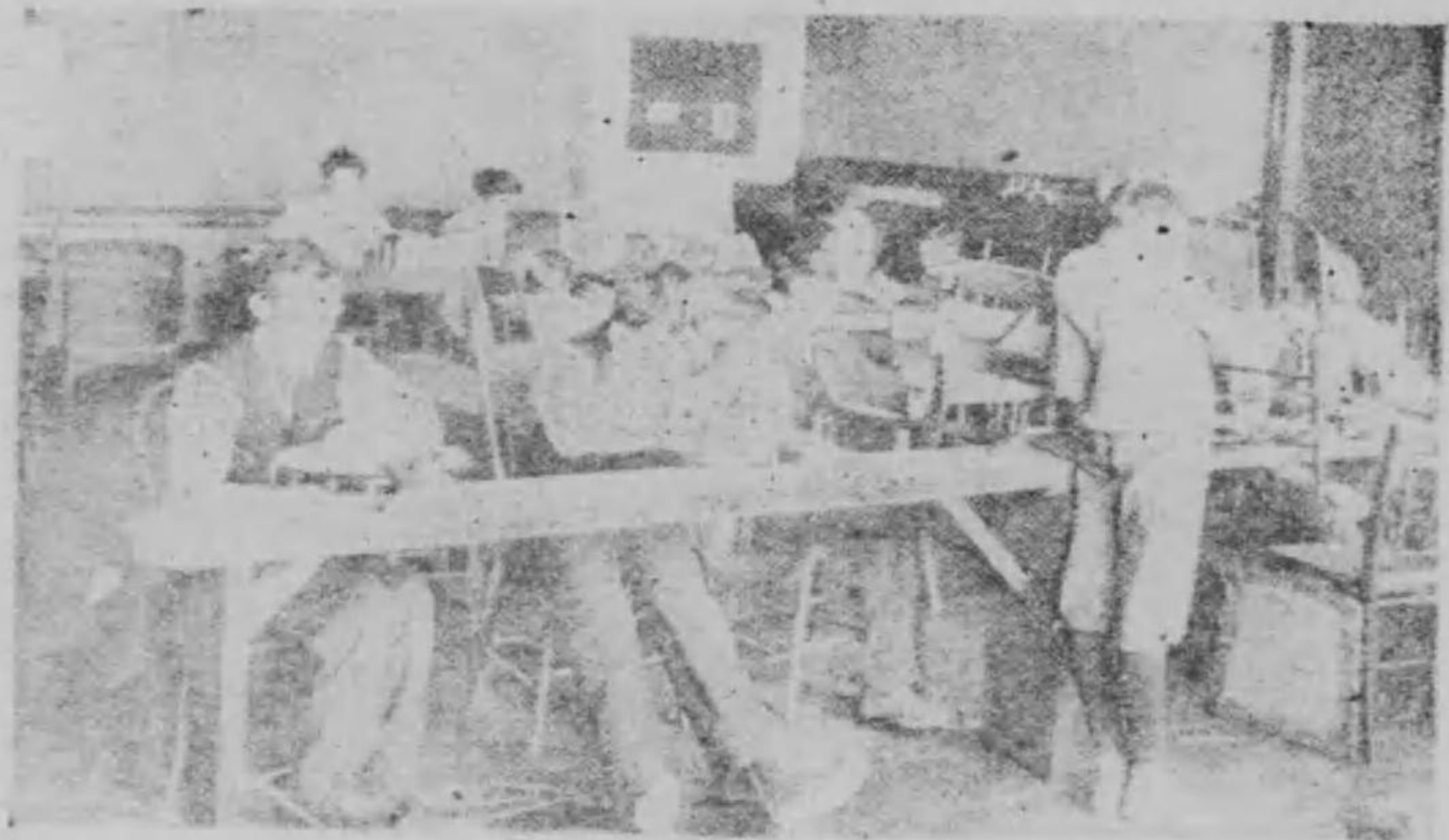
救済の仕事に任じて居つたが近來異常者の教育が社會事業となり、一般共同の出費によつて支辨する傾向となつてからは、この團體は公共の力の及ばない所に向つて力を注ぐ様な傾向になつて居る。従つて、學校卒業者の職業紹介をなし或は大人不具者疾病施術の爲、又は怪我の爲



ダイピスト

不具となりしもの(に身に適した職業を授けて、幸福な餘生を送らしめ、又は學校の費用の及ばざる所を補助する。例へば、兒童に「おやつ」を與へるに費用がない、看護

婦または料理人を傭入りたいが、その給料を市郡で支辨することが出来ぬといふ如き場合には、その補給をする。西洋現時の大體の傾向を概言すれば、教育の爲の學校は、必ず公共團體の出費によつて支辨する。即ち、學校を立て相



椅子修繕

當の設備をなし、又これを維持し、教員を傭聘するだけは市郡の最小限度の負擔として居る。勿論、市立病院の設ある市にあつては、その治療の幾部をも、また市の負擔とするが、餌食を給し、轉地療養をなさしめるまでは、市郡は負擔に堪へぬ所から慈善團の力に依頼するがある。ロンドン市には、Wright's Lane Home for boys, Heritage school of Arts and Crafts, College for older boy 等の慈善團立の學院がある外に、Invalid childrens aid associationといふ大規模の會があつて、不具兒の世話をも引受けて居る。

不具學校が如何なる成績を擧げ得る

かを英國マンチェスター市一九一六年度の年報によつて舉げて見れば、全愈二三五人、普通の小學校に戻し得る程度に快愈したるもの六六人、症狀甚しき爲病院に入れたるもの四六人、學齡終期即ち十六歳に達したる爲退校せしめたるもの八人、現在收容中のもの一一二人といふことである。

第十章 病弱兒の教育

第一節 癲癇兒の教育

癲癇にも重輕の二種がある。輕癲癇は殆んど人に氣附かれざる度合の發作で済むが重癲癇はその症狀が著しく、しかも發作の度毎に永久にあるひは一時的に、叡智の度を低めて行くが常である故に、こは他の兒童と共學せしめることは不可能である。さればといつてこれを放棄しておくは、益々その兒の不幸を大ならしめるもので、實に人道に忍ぶ能はざる所である。特に彼等には、適當な精神のおよび身體的の作業を課すれば、神經の調整によつて漸次

にその發作の度数を少くし、終に全治を見ることもある。假令全治せざるまでも、度数を少くし、彼等をしてより幸福な生活を営ましめることが出来る。

この種の兒童の教育は、未だ甚だ盛といふ時期には達して居ないが、シカゴ市には三箇の中心がある。余が見たるはその一のベイドリースクールと稱するもので、圖書館内の一室、極めて靜かな外來の刺戟のない所に設けられてあつた。兒童数は五人、當日は發作の爲三人の兒童は缺席し、唯二人が登校して居つた。一女兒年齢九歳なるが、痲痺の爲半身自由ならず、唯右手のみでモンテソーリの玩具を弄して居つた。男兒は年齢十四歳、入學後二年間は何事もなし得なかつたが、今は九々を暗誦し、計算も二位数の加法が出来、讀本は普通の兒童の第一學年用書を読んで居つた。別室に寢臺が二箇あり、發作の際にはこゝに靜臥せしめる。短かきは數分、長きは一時間に亘つて痙攣をつゞけるといふことであつた。同市のは皆晝間學校である。

ロンドン市には未だ市設としての教養所はない。目下講究中であるとのことであつたが、兒童は Chalfont, Lingfield 及び much Hadham の三癲癇收容所に

児童收容希望書

- 1 児童姓名 _____ 2 生年月日 _____ 3 性 _____
 4 原籍 _____
 5 現住所 _____
 6 父母は現存するか _____ 7 父母の年齢 _____
 8 父母の職業 _____
 9. 兄弟姉妹の姓名年齢職業(あるならば)を下に記入せられよ

姓	名	年	齢	職	業

- 10 かかりつけの醫師の姓名及住所 _____
 11 就學しつゝある學校名 _____
 12 曾て入學したることのある學校名及びその年月 _____
 13 親戚ならざるものにして児童並にその家族について最もよく事情を知れるもの二人の姓名住所職業 _____

- 14 入所料負擔者の姓名
 父母、保證人又は教育課又は
 は其他の收容希望者(児童
 との関係明記)住所調印 _____



歐米の特殊教育

マンチネスター市癲癇學校

委託せられて居つた。一九一九年の年報によれば、七十五人の児童が委託されて居る。これらの癲癇收容所は、孰れも慈善團の設立にかゝり寄附金並に補助金と入所者の納金とで支持して居る。この内の Chalfont colony は The National Society for Epileptics の經營にかゝるもので、三部に分かれ、七歳以上十六歳未満を兒童部以上を大人部とし、大人部は男女に分かれて居る。コロニーは静かなまた健康な田舎にあつて面積三百六十エーカーを有し、各部はまた各々幾多の家庭舎を有し、

各家庭舎には十八乃至三十人を收容する設備が出来て居る。マンチエスタ
 1市には市設で四棟計百人の癲癇児を收容する設備が出来て居る。児童は
 階下の室で教養せられ、また寢食を給せられ。階上は教師看護婦事務員等の
 室に當てられて居る。階下の室は、二十五人の児童の寢室の外、夜番室浴室便
 所等である。家の中央に休憩室があり、天井から明を採つて氣持のよい室に
 して居る。この室はまた食堂として利用せられる。屋外には同じく遊戯場
 學校園等があつて、美しい花が四時風致を添へて居る。家庭舎は四棟に分か
 れて居るので、児童をその種類によつて分類し、各兒に適した教養を施し得
 やうにして居る。

兒童の收容に關して、前陳のザナショナルサイトフォーエビレブチ
 ツクスの取つて居る手續を參考の爲に擧げて見れば、次の如くである。

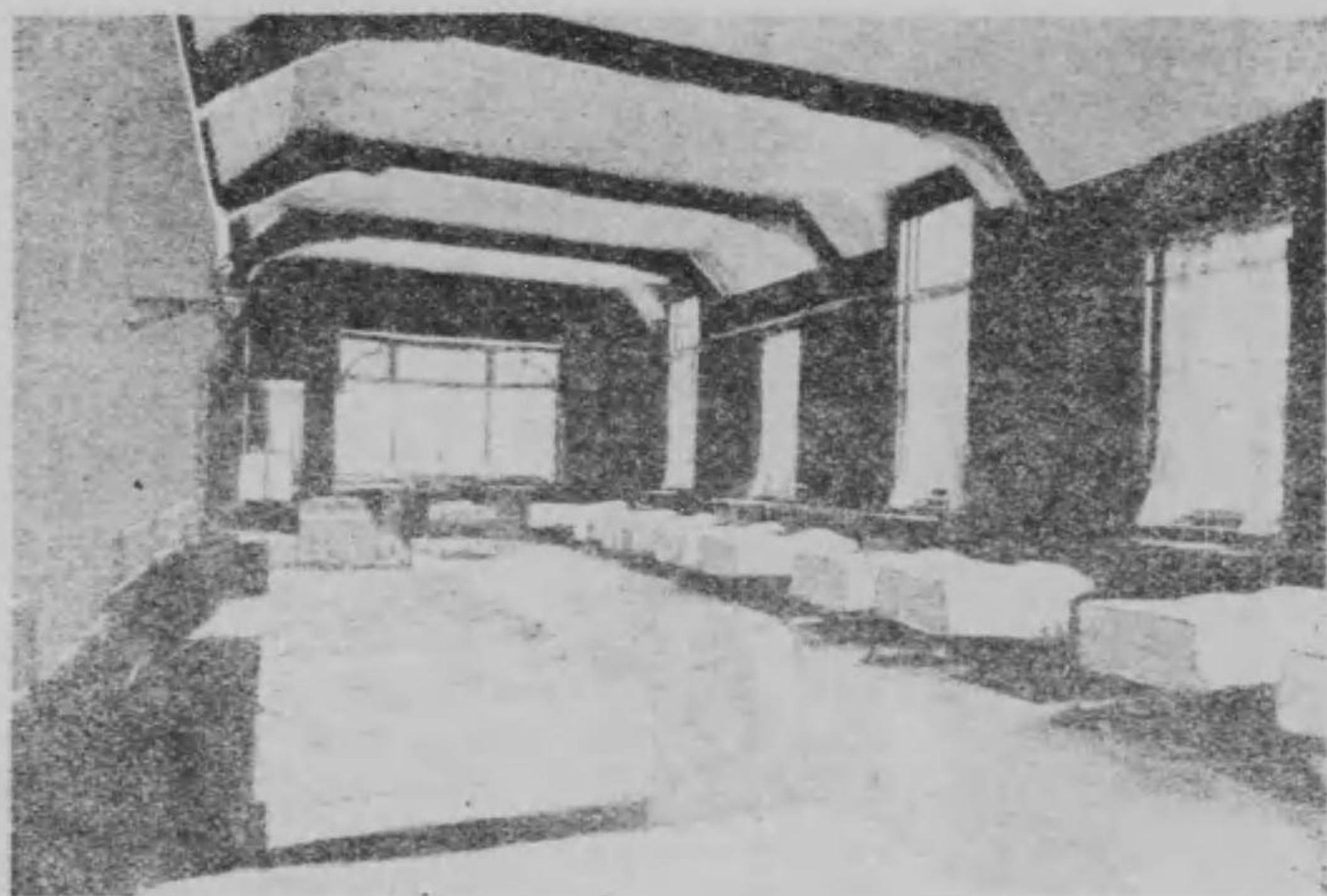
先づ、父兄またはその他の保護者あるひは教育課から、收容希望を差出すを
 要する。その書式は前頁に掲げた所の如くである。

會はまた兒童のかゝりつけの醫師に對して、次の照會狀を發し、その返答を

收容

ザナショナルサイトフォーエビレブチツクス用紙

- 次の場合には入所を拒絶す
- 1 癲癇のすべての場合
 - 2 白痴癲癇及低能の重度の場合及癲狂の場合
 - 3 道徳缺損の極端又は非常なる場合
 - 4 現に結核に罹り居る場合
 - 5 現に傳染病に罹り又は快復期に向ひつゝある場合
- 兒童の醫學的情況に關する問
- 1 兒童の姓名及住所 _____ 2 生年月日 _____
 - 3 何時から何時まで貴下の診療を受け居たか _____
 - 4 a 發作又は b 他の癲癇様症狀がどの位續くか _____
 - 5 どの位頻繁に發作が起るか _____ 6 夜間? 晝間? 晝夜? _____
 - 7 幼少の時癲癇に罹つたか _____
 - 8 癲癇の推測原因(傷害怪我感動等について詳細に記せられたし) _____
 - 9 兒童は精神的には(a)正常? _____ (b)正常以下か _____
 - 10 若も正常以下ならば
 - (a) 白痴又は癲癇か _____
 - (b) 癲癇に近い低能か _____
 - (c) 軽度の低能か _____
 - (d) 鈍又は劣等か _____
 - 11 兒童は道徳的缺損又は異常の兆候を示すか _____
 - 12 兒童は自己を清潔に保つ習慣を得て居るか _____
 - 13 兒童は病院又は養育院の入院者たりしことあるか _____
 - 14 兒童は癲癇の外に疾病無能身體上の缺陷を患ふるか、もし然りとせば何を? _____
 - 15 血統中に癲癇大酒癲癇癲狂又は肺病等のものありしか _____
 - 16 兒童が女性ならば月經が始まりしか、もし然りとせばそれは規則正しく來るか又は不規則か _____
 - 17 兒童は精神的又は身體的に教授を受け得るか又それが有効か _____
 - 18 貴下は上記の入所謝絶の條項を讀まれても御一己の御診断では入所を適當と認めらるか _____
- 姓 名 _____
 住 所 _____



癲癇兒の寄宿學校寢室

大凡の見當をつけ。尙兒童を親しく詮檢した上で、希望に應ずる。寄宿學校であるが故に、その世話のかゝること夥しく、夜間は不寢番が付き添つて、發作を起した兒童を見れば直に手當を施す。食物の調理も中々に難事で、成るべく滋養に富み、しかも刺戟性を有せざるものを選びねばならぬ。發作後はその症状の如何によつて、しばらく學業を休止せしめる。また身體上の注意並に精神の適當な修練によりて、發作回數が漸く希少になり、または全愈した時には、父兄の希望までもなく

求める。

會はまた學校に對して次の如き諮問を發する。而して諸報告を總合して、

- 1 兒童の年齢 _____
- 2 兒童の在學期間 _____
- 3 兒童は(a)品行がよかつたか _____
 (b)聞き分けがよいか _____
 (c)従順か _____
 (d)悪戯好きか _____
 (e)意地悪るか _____
- 4 兒童は正しく清潔に習慣づけられて居るか _____
- 5 兒童は遊戯の際他の兒童と協同するか _____
- 6 次の事項に関する兒童の行爲は如何
 (a)忠實? _____
 (b)正直? _____
 (c)節制? _____
 (d)謙遜? _____
- 7 次の事項に関する兒童の精神状態は如何
 I 記憶? _____
 II 返答—速又は遅? _____
 III 模倣? _____
 IV 學業の最高點
 (a)讀方? _____
 (b)計算? _____
 (c)書き方? _____
 (d)手工? _____
- 8 其他この兒について氣附かれる事項? _____
- 9 兒童は極まりよく出席するか、もし然らずとば其故如何 _____

印 _____
 學校 _____
 部 _____ 年月日 _____

【注意】7のIVについてはよく出来るとか可なりだとかいふ如き抽象的な語を避け如何なることを爲し能ふかを簡単に御記入せられんことを乞ふ

退所を命ずる。一九一九年一月一日の現在によれば、同會の療養所には、大人男一八八、女一三八、計三二一、小人男三〇、女二八、計五八、總計三七九人の寄宿者があつた。この外に、治療を受ける爲に同所に通學したものが、前年中に十六人あつたといふ。

收容所は、晝間だけなるもあり、また寄宿舎附なるもある。マンチエスタ市には、この兩種の學校を有して居る。

第二節 結核兒の教養

肺結核に現在かゝつて居る兒童は、他に傳染する虞がある故、他の兒童から引き離して特別の場所に於て教育するを要する。これが爲に設けた學校を、或は外氣學校 *Open Air school* とし、或は田園學校 *Country school* とし、或は戶外學級 *Outdoor classes* とし、或は外氣教室 *Open Air class* とし、或は森林學校 *Waldschule* とし、尤もこれらの名稱は、常に肺結核兒の教養所を指示するのみならず、また次節に述べる癩身兒の教養所をも指示することがある。

學校並に學級の異名

概して言へば、米國には森林學校は遂に發達し得なかつた。その代りに都會地に於ける晝間だけの教養所が種々様々の發達をなして居る。これに反して、森林學校は獨逸を始め歐洲に特に發達した。而して、世界の最初の森林學校であるシャロットテンベルヒの學校が、癩身兒の教育を目的としたるに反し、米國の最初のオープンエアスクールは、寧ろ結核兒の教養を目的としたるは面白い對照であるが、前者は終に結核兒の教養に及び、後者は終に癩身兒の教養にまで手を伸ばした。

肺結核兒の教養所は、歐米の大都市には概ね設けられて居る。米國のセントルキ市には、三棟の校舎に百八十人の通學生を收容して居り、シカゴ市にも一校、フィラデルフィア市には二校あり。ニューヨーク市は、これを療養院内に戶外學級 *Outdoor classes* とし、名稱の下に學級として附設して居る。ロンドン市には *Kensal house school* と稱する學校があつて、九十人の兒童を收容して居つた。尙同市の報告によれば、この種類の學校が同市には二十校必要であるといふ。學校は市の教育課で設立して居る所もあるが、衛生局の兒童保健

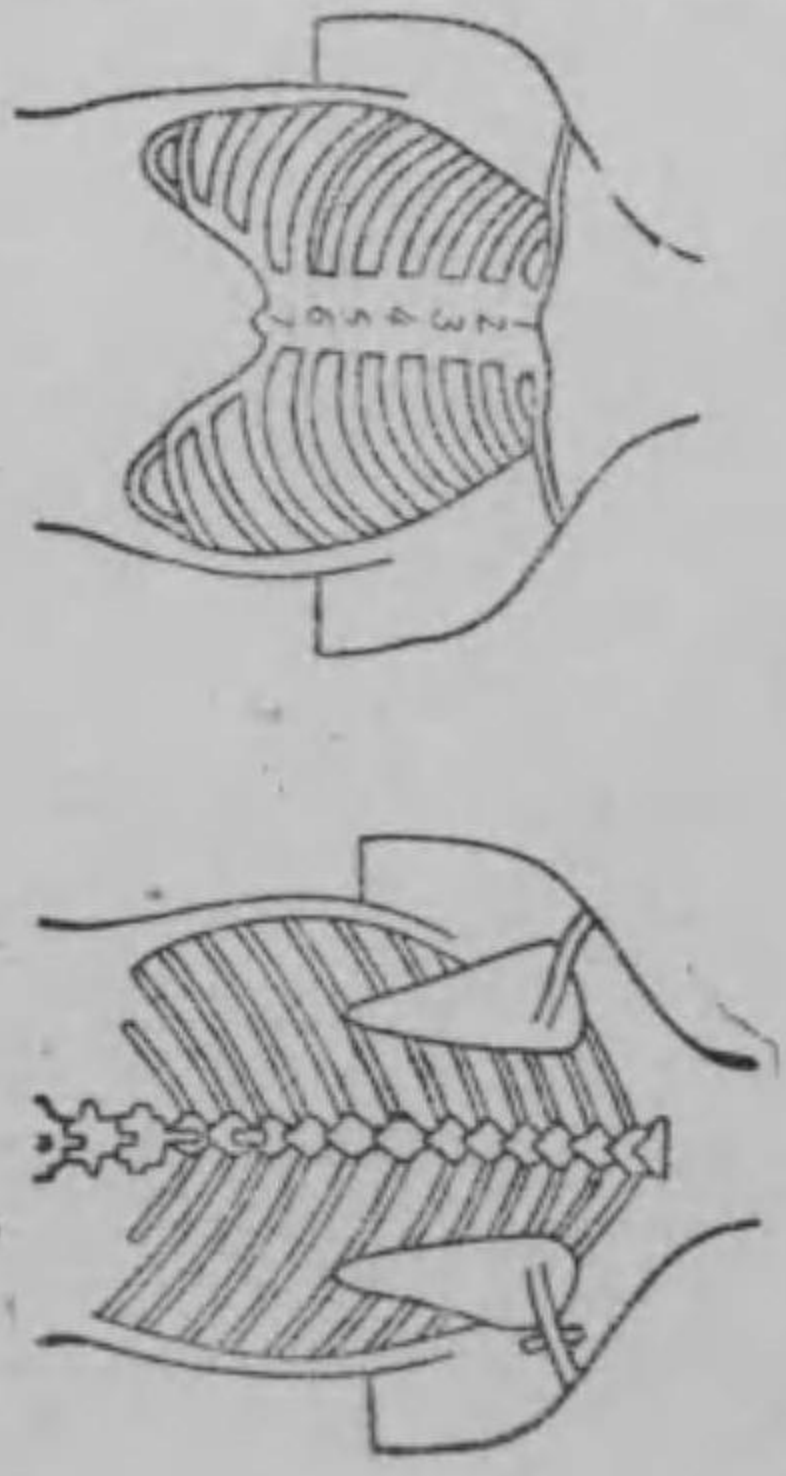
課または結核豫防會などが主となつて設立し、教育課の協力と助力とを得て居るものもある。

此種の學校は、内科病院と最も密接な關係を有するを要すると同時に、市内の晝間だけの學校にあつては、郊外の林間または海濱に療養所を持つて居ることが必要である。これこれらの兒童は、内科的取扱を要すること最も大で、常備の醫員や看護婦だけでは、力の及ばざる所があり、またその重篤なものは健康地に轉地せしめる必要があるからである。職員としては、教員の外に内科醫、齒科醫、看護婦、厨婦、家庭訪問教師等のあるが完備したものである。家庭訪問教師は家庭に出入して兒童の療養法を指導する。例へば、食物の調理、寢室の通氣、衣服就眠時間等について忠告するが如きである。而してその費用は、學校並に教室の設備教師の俸給等はこれを學務課から支出するが、醫師看護婦厨婦の給料並に兒童の餌食費は、衛生局または慈善團社會奉仕團から支出せられるが寧ろ普通の狀況である。

入學の際には、醫師その他によつて嚴密な身體その他に關する検査を施さ

病院との關係

入學検査

姓名		ロンドン市役所用	
住校	校	收容	退校
年	年		
生年月日			
疾病の期間			
血統史			
1 部位			
醫的検査の結果			
			
2 一般			
3 身長		4 略痰	
5 體重			
6 口及び咽喉			
7 體格		8 特別の検査(皮膚及び眼炎等)	
感染の推定原因? 尙現存する?			
以前の處置 1 施療院 2 療養院 3 外科 4 其他			
従前の疾病			
家庭の事情(衛生、風變り等)			

れ、然る後拒否を決せられる。今その検査要項を、ロンドン市立ケンサルハウスクールについて示せば前頁に掲げる所の如くである。

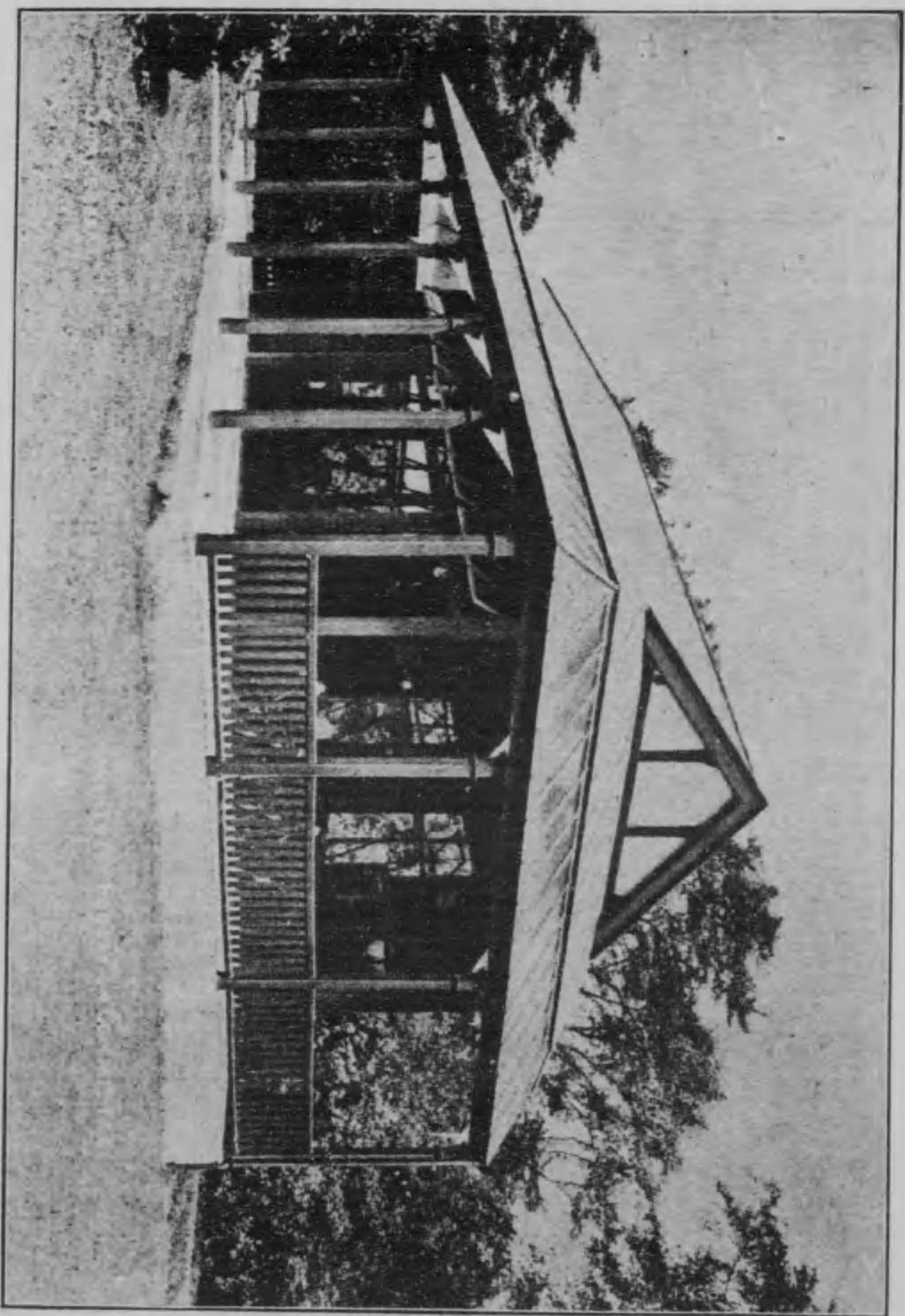
ファイラデルフィア市用のものは、一層精密である。今その家庭調べと身體調べとの雛形を舉げて見れば次の頁に舉げる所の如くである。

この種の兒童の教養に要するものが四ある。その一は新鮮なる空氣、その二は日光、その三は滋養ある食物、その四は十分なる休息である。

新鮮なる空氣を給する爲に、晴天の日には教室を露天に設ける。特に周圍が針葉樹で囲まれ、土壌が白砂であれば最もよい。兒童には夏季日光の直射の烈しい場合には帽子を戴き色眼鏡を掛けしめる。然らざる日には露頭のまゝ、四季ともに外氣を浴みつゝ稽古せしめる。冬季には、頭も足も體も温かに纏ひ同じく外氣を浴みつゝ勉學せしめる。雨天の際には、止むなく屋根の下に入らしめるが、その家屋は南方だけを開き他の三方を圍ひ、あるひは、北方のみを塞ぎ、他の三方を明け放しにしておく。米國の教室は明け放しの三方も、細かな金網を張り、以て烈風や蠅の浸入するを防いで居る。また大都市に

四要素

新鮮なる空氣



外氣學校教室



第十章 病弱児の教育

お 三 時

食物は晝食の外、午前と午後とに各一回宛小晝食を取らしめるが普通であるが、また朝食夕食をも給する所がある。食物は滋養分のある消化し易きを選び、食卓には教師と看護婦が陪食しながら食事の作法及咀嚼法を教へる。食堂に入る前には児童は先づ必ず手を洗はしめられ、食後は齒楊子を使用し含嗽をなさしめられる。

朝食を與へる所では、早朝に登校せしめ、夕食を與へる所では、七時後に下校せしめる。今晝食と二回の小晝食との材料を米國フィラデル



歐米の特殊教育

冬季屋上の外氣學校

あつては、郊外に児童を集めることの不便を避ける爲に、市内の高層な建物の屋上を利用するもある。特にこれは米國に多い。去りながら、冬季は特に煤煙が多く、到底新鮮な空氣と稱することは出来ぬ。これは米國の外氣學校を訪問する人々の等しく懐く所の感想である。

日光浴は、露天または屋上で教授する際には十分にこれを取らしめることが出来るが、尙その上に、遊戯も學校園作業も食事も晝眠も、日光を浴みてなさしめる。しかし、餘りに強い日光に曝し通しでは、却へつて害を招くが故に、適時に樹陰に避けしめる。



ファイヤ市のジラードスクール構内の外氣學校について例示すれば、前頁に示す所の如くである。

午睡

午 睡

晝食後一時間は強制的に午睡せしめる。睡眠を欲しないものでも、床上に横臥して安静にするを要求せられる。寢臺は簡単な構造の折り畳みの出来るもので、晴天の日には、児童は樹陰なり、家屋の影なり、又は日光の照る場所なりへ自由に廣げて、その上に横はる。夏季は毛布一枚を纏うのみであるが、冬季でも午睡の爲特に毛布を多くすることはない。雨天の日には、教場の机腰掛を片寄せて、俄造りの寢室とする。教師は常にその傍にあつ

1919年五月の献立表

	午前 9,30	正午 12,00	午後 2,30	
51	オートミール,牛乳	焼饅頭にトマト,馬鈴薯,米のプツディング,麵麩,牛乳	牛乳	歐米の特殊教育
52	同 豆スープ	麵麩,麵麩プツディング,牛乳	同	
55	ホットコゝア	野菜スープ,麵麩,ジャンケツト,牛乳	同	
56	オートミール,牛乳	ハンバーグステーキ擦りつぶしの馬鈴薯麵麩,ゼリー	同	
57	同 同	トマトのスチュー,馬鈴薯,麵麩,スチューにした梅,牛乳	同	
58	同 同	乾き牛肉,オムレツ,焼き馬鈴薯,麵麩,米プツディング,牛乳	同	
512	ホットコゝア	野菜スープ,麵麩,ジャンケツト,牛乳	同	
513	オートミール,牛乳	ハンバーグステーキ,蒸し馬鈴薯,麵麩,米のプツライング,牛乳	同	
514		鍋焼豆,馬鈴薯,麵麩,スチューにした梅,牛乳	同	
516	ホットコゝア	豆スープ,麵麩,蜀黍の麵麩,牛乳	同	
519	牛乳,クラッカー	馬鈴薯の鍋焼,蜀黍の煮汁,麵麩,チョコレートプツディング,牛乳	同	
520	オートミール,牛乳	野菜スープ,麵麩,ジャンケツト,牛乳	同	
521	同 同	焼麵麩に挽き肉附,馬鈴薯,米のプツディング,麵麩,牛乳	同	
522	同 同	豆のスープ,麵麩,梅實のスチュー,牛乳	同	
523	同 同	豆のスープ,麵麩,米のプツディング,牛乳	同	
526	同 同	饅頭の鍋焼き,桃のスチュー,牛乳,麵麩	同	
527	同 同	馬鈴薯の鍋焼き,馬鈴薯のスチュー,ジャンケツト,麵麩,牛乳	同	
528	同 同	スチュービーフ,麵麩のプツディング,麵麩,牛乳	同	
529	同 同	米にトマトの汁かけ,蜀黍,麵麩,牛乳,	同	

て、彼等を管理し、静肅を保たしめ、時間が来れば呼び起こす。今一日中に於ける児童の行動を、前陳のジラードスクール構内の外氣學校について示せば次の如くである。

午	前
9.00—9.10	始業練習
9.10—9.30	衛生及市民科
9.30—9.45	おやつ
9.45—10.15	算術
10.15—10.30	書き方
10.30—10.45	休憩
10.45—11.00	音楽
11.00—12.00	晝食
午	後
12.00—1.00	午睡
1.00—1.30	手工
1.30—2.00	歴史又は地理
2.00—2.15	綴方
2.15—2.30	休憩
2.30—2.35	お三時
2.35—3.00	言語

検温

児童は毎朝登校するや否や、看護婦によりて体温を検せられ、もし高熱なるを發見せらるれば、當日の受業を禁止せられ、病室内に静臥せしめられる。また略血した場合にも直に受業を禁ぜられ、静臥の後家庭または病院に送られ、當分登校を禁止せられる。看護婦は、毎日の体温を記録し、これをカーヴに現はす、今その例をロンドン市立ケンサルハウススクール用紙について一箇月

分を示せば、次の如くである。

ロンドン市役所用体温表

192

姓名

學級

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
99																																
100																																
101																																
102																																

醫師は少くとも一週二回ぐらゐ來診して、病勢の進退を検し、適當なる注意を與へ、體重は毎週末又は二週に一回これを檢し、それらの結果はこれを表上にカーヴで現はす。而して體重も體温もその他身體一般の狀況も平常に復し、二箇月以上に亘り更に變化を來さない時には、既に治癒したものととしてこ

れを普通の小學校に戻す。なほこれには、教師看護婦醫師の経過報告書並に退校書を添へるを要する。その報告書並に退校書の書式は、概要次の如きものである。

斯くて收容時の検査・體溫表・経過報告總合表等は男女により紙の色を異にし各人別に一束となして永く學校に保存する。

轉校

姓名 _____ 生年月日 _____
_____ 生 _____ 所 _____
_____ 經 過 報 告 _____

年月日	教師 日 誌	年月日	看護婦 日 誌	年月日	醫 師 日 誌

將來につてきの勸告

第十節 病弱兒の教育

歐米の特殊教育

二六八

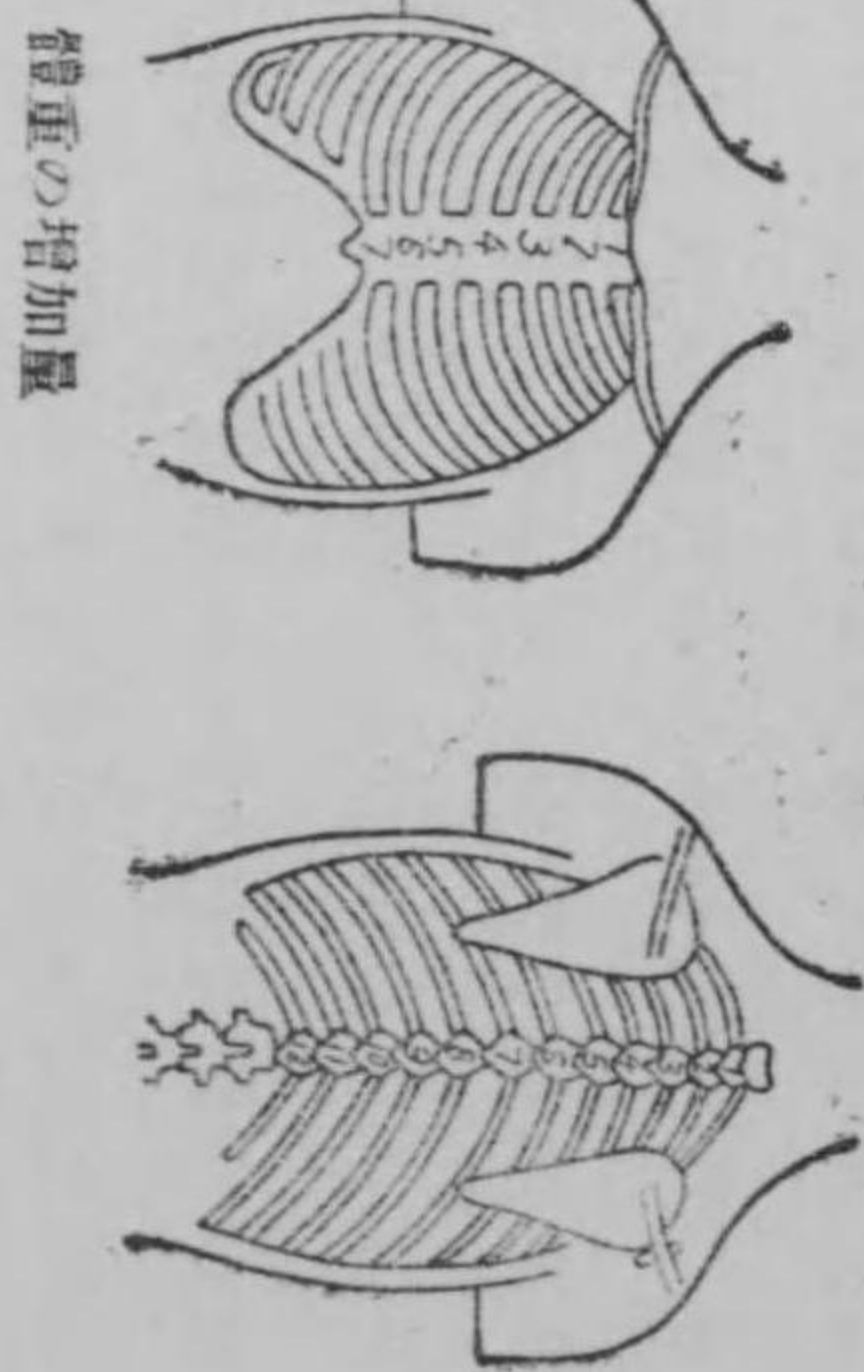
れを普通の小學校に戻す。なほこれには、教師看護婦醫師の経過報告書並に退校書を添へるを要する。その報告書並に退校書の書式は、概要次の如きも

ロンドン市役所用紙
退校書

姓名 _____ 退校年 _____ 退校年月日 _____
住所 _____ 年齢 _____
在學年月 _____ 退校理由 _____

學業進歩 _____ 身體改治 _____

家庭事情上の結果



將來につてきの勸告

第十節 病弱兒の教育

二六九

學習の爲机による時間は餘りに多くせず、主として日光外氣を浴みて適當な遊戯手工裁縫編物花卉野菜栽培自然物の觀察等をなさしめる。體操時間には看護婦が監視して居て、兒童によつては運動を中止せしめる。しかし、學力はこれらの爲著しく劣ることのないは、各國の經驗の著しく證明する所である。尙身體上について斯かる施設の有效であることは、前述のケンサルハウススクールが開校以來十箇年間に取扱つた兒童四百六十人の中、肺病の爲に死亡したるは僅に三人に過ぎないによつても證することが出来る。

療養院内に學級を設ける所にあつては、市郡等の公共團體から助力を受けることもあるが、概ねは慈善團體または社會奉仕團または個人の後援によつて立つて居る。ロンドン市には、不健兒童救護會 Invalid children's aid association と稱する大規模の會合があつて、市の内外に數多の支部を有し、不具兒結核兒並に次節に陳べる羸身兒に關して、他の諸會合と聯絡を取つて、兒童の治療教育並に職業紹介家庭の善導等に盡瘁して居る。また萬國白十字會のこの方面に對する活動も、中々に見るべきものがある。

第三節 羸身兒の教育

羸身兒の意義

こゝに羸身兒と稱するは、普通に貧血兒營養不良兒腺病質兒など稱する兒童のことで、これらは結核病に罹り易い傾向を有する所から、また結核候補兒 Pre-tuberculosis と總稱することもある。この種の兒童は、教授上に於て普通兒と共學せしめることが不可能なるのではなく、たゞ身體上の取扱に於て特別の注意を要するのである。されば、これらは普通の小學校内に於ける特別學級で教育すべきで、決して離隔教育を施すべきものではない。尙且その症狀が全く復舊した場合には、これを普通兒の學級に復せしむべきこと、改めて言ふまでもない。

學校の名稱

この種の兒童を收容する學級を、外氣學級オウキガクと稱することもある。例へばニューヨーク市の如きがこれである。而して、結核兒の教育所をこれと區別する爲に、戶外學級アウトドアクラスと稱して居る。然るにシカゴ市では、これを開窓學級オウブンウインドークラスまたは低溫學級ローテンペラチユアラッスと稱し、フィラデルフィア市では、從前貧血學級アネミッククラスと稱して居つた

が、數年前から開窓教室と改稱し、これを外氣學級と區別するに至つた。即ち後者は結核兒を收容する學級で、前者は癩身兒を收容する學級である。歐洲に於ては森林學校フアルトニールまたは外氣學校または遊戯場學校プレイググラウンドスクール或は田園學校カントリースクールと稱し、これを一の學校とすること前節に陳べた所の如くである。元來この種の學校は癩身兒を收容する學校として起つたが始で、結核兒を收容するに至つたのは、寧ろ後のことである。従つて、今日尙この兩種類の兒童の學校が別々に設立せられるやうになつても、その校名は未だ分化するに至らない。

世界に於ける最初の森林學校は、獨逸のシャロットテンベルヒに設けられたものである。即一九〇四年に、身體の弱い而して學業の劣つて居る兒童を、松樹の茂つた砂地に建てられた校舎に收めたがそれである。この種の兒童は、療養院へ送れば身體の恢復だけは望まれるが、同時に學業の進歩を犠牲にせねばならぬ。普通の小學校に留めれば、身體の改治は殆んど望なく。且また身體に伴うて精神の能力も多少異常を有するものが多い故に、普通の兒童に雁行せしめようとなると、身體の健康を犠牲にせねばならぬ。こゝに於て治



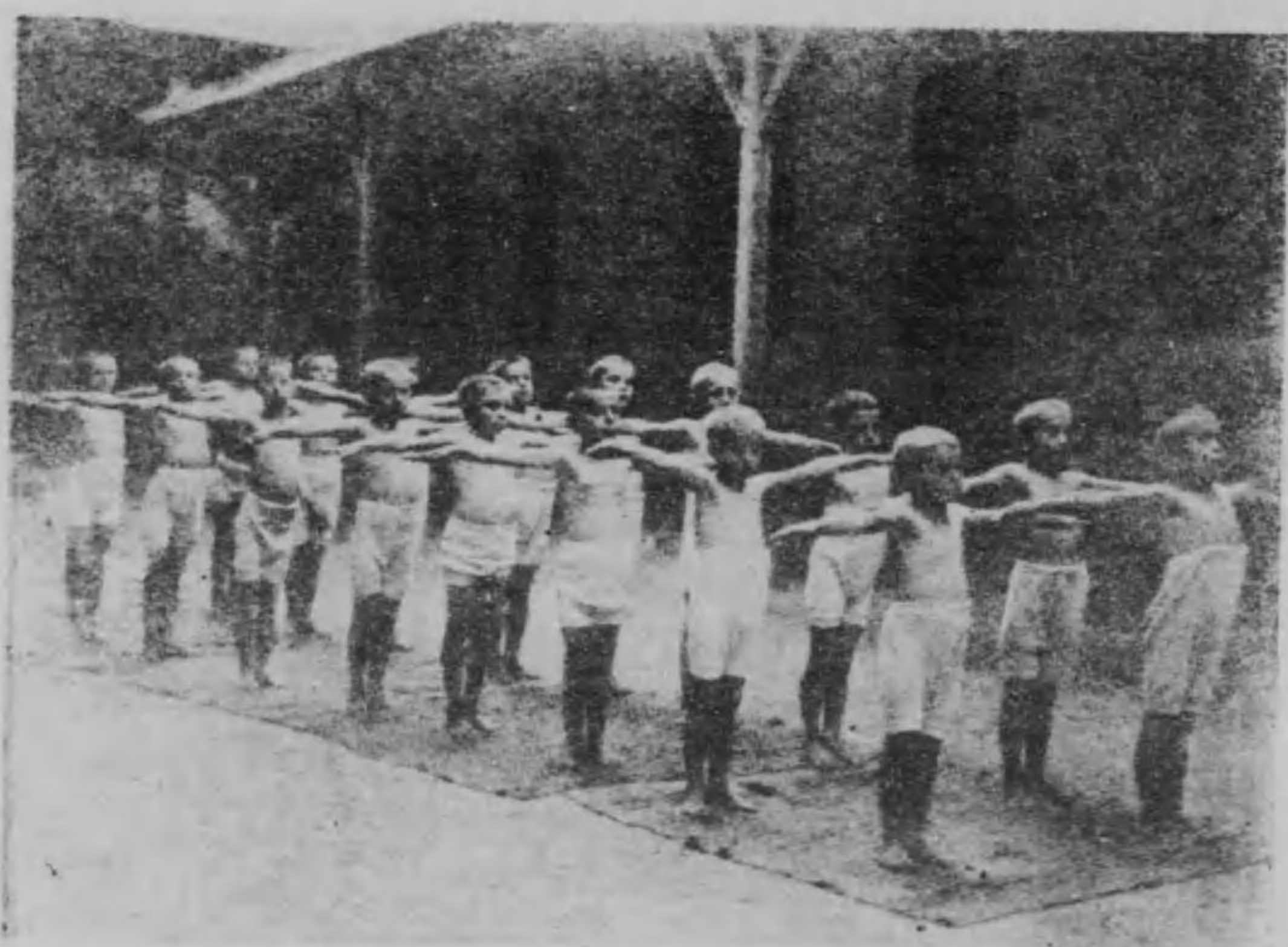
世界最初の森林學校

療しつゝ教育する特殊の學校を設けようと志したのが、この種の學校の起原である。然るに、施設後三箇月にして、その成績の著しきものあるを見た。即ち、兒童は體重並に體力に於て著しい増加をなし、療養院に於けると異らざる結果を招來した上に、特に驚くべきは、彼等の學業が普通の兒童に比し半にも及ばざる授業時間なるにも拘らず、敢えて後れを取

らないのみか、却へつて秀越したといふことである。この報告の一たび現はるゝや、國內は勿論、國外にも競つてこの種の學校の設立しようとする機運が動いた。斯くて、英國ロンドン市には一九〇七年に、米國のプロヂイデンス市には一九〇八年に、同じくこの種の學校を見るに至つた。去りながら、英米に於ては、寧ろ公園を利用する企が起り、特に米國には屋上を利用することが工夫された。

この種の兒童はこれを歐洲の如く特別な學校とすべきか、或は米國の如く寧ろ特別學級として普通の小學校内に附設すべきかは、一考すべき問題である。もしも收容の期間が短日月であるならば、これを隔離學校とするも差支はないが、長期に亘るものであれば、第四章第二節に陳べた理由によつて、隔離學校は採るべからざるものである。且またこの種の兒童は、これを普通兒と混するも、その疾病を他に傳染するやうな虞がなく、設備其他の經費の上から見ても利點が多い故に、寧ろ普通の小學校内に附設するを選ぶべきである。中心學級として普通の小學校内に附設するは、米國に多い。サンフランシ

か學校か學級



夏季呼吸運動 (ハンガリア國)

スコ市には一小學校内に二學級を有し、シカゴ市は十五校、クリブランド市は六校、ニューヨーク市は十一校内に各一または數學級宛を有して居つた。例へば、グリブランド市のウアーレンスクールウアーレンの如きは五學級百二十人の兒童を有し居つた。ロンドン市は、獨立の小學校として外氣學校二校を有して居つたが、尙八校を要するといふことであつた。この外に、細民部落には學級として遊戯場學校プレイグラウンドと命名し、これを普通の小學校内に設置し、學校附近の公園



冬季の開窓教室（米國）

または廣場を利用して、教場となすものが一九一八—一九年に五十九學級あつた。

兒童の種類は、營養不良、貧血または腺病質等稱するを主とするがこの外にまた心臟病の兒童をも併せて收容して居る所がある。去りながら、心臟病の兒童はその取扱方に尙特異な點を必要とするが故に、近時歐米にはこれを分離すべきを主張する論が漸次盛になりつゝある。この外また、骨格筋肉等に結核を宿して居るものを

も、傳染の虞なしとの理由からして混じて居る所もある。ニューヨーク市の規定によれば、外氣學級に收容すべき兒童は、(一)家庭に結核患者のある、または結核にて死亡したる人のある家庭の兒童。(二)一度肺結核を患ひ、今は病勢停止して居る、または治療した兒童。(三)營養不良兒。(四)疲勞し易き兒童。(五)神經病兒、但し、舞蹈病を除く。(六)心臟病を患ふる兒。(七)風邪または氣管支カタルの爲に、時々學校を休む兒童として居る、また肺病(結核性)にあらざる兒をも、同じく收容して居る所もある。

學校とするもまた學級とするも、兒童は晝間だけ收容せられる。この種の兒童に要する所も、亦前章に陳べた肺結核兒と同じく、新鮮な空氣、滋養ある食物、日光、休息の四である。新鮮な空氣を供給する爲に、教室は四時明け放ししておくを要する。もしこれを普通の小學校内に設くる場合には、所謂開窓教室の名の如く、その窓を明け放しにして置く。去りながら、冬季寒風が直接に身邊を襲ふは害あるが故に、夏季窓外に張り出す幌を窓内下部に張り込み、以て外氣をして、先づ一度天井に吹き當てしめる。室内の溫度は所謂低溫學級

歐米の特殊教育

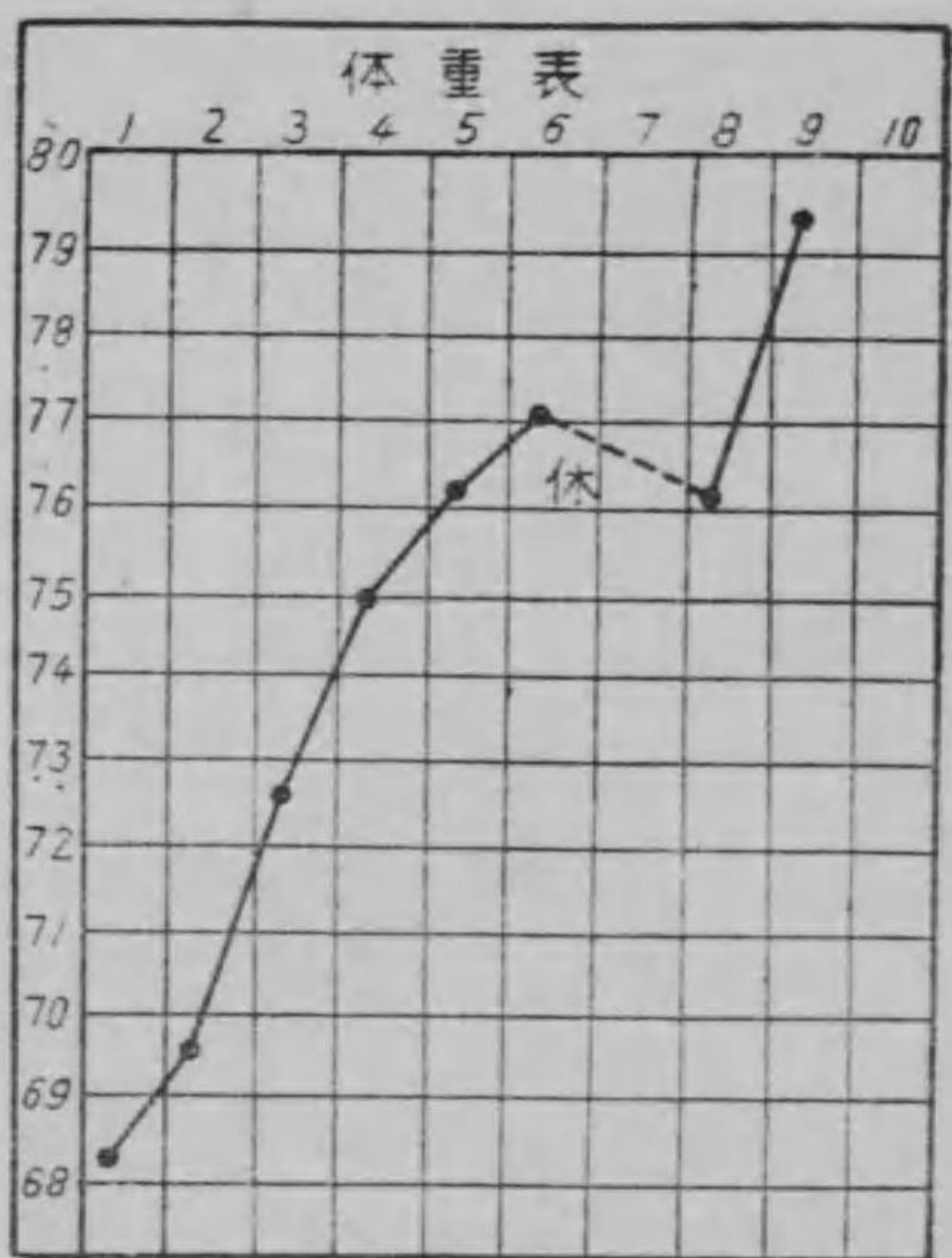
の名の如く、これを五十度乃至六十度に止めようとして居る。

日光は、結核兒程には必要でない。従つて、強いて露天で教授をせねばならぬことはないが、遊戯や學校園作業は、日光を浴びてこれをなさしめる。特に學科の時間は、普通の小學校に於けるよりも少く、一日中の時間は多く自然物に交はつて、身體を練りつゝ、その研究に費やさしめる。即ち、理科は専ら動植物の觀察飼養から風水の物理化學的作用等に及び、數學は自然直觀物の計算から地積



家屋建築

の測量、樹木家屋の高さの測量に及び、地理は自然の觀察からその變化の考察人生への利用に及び、圖畫は自然および自然物の寫生を主とし、手工は家屋の建築から兎小屋、雛小屋の建築、燒物の陶造に及び、遊戯は普通の遊戯から野外劇に及び、等、外氣中にて學ばしめ得る事項が甚だ多い。しかも、最も自然的な方法たる故を以て、教室に坐して學ぶよりも、その能力の發達を促す點に於て、寧ろ有效である。



に取ってその進歩を一目瞭然たらしめる。兒童はまた斯かる直觀的の進歩表を見て勇氣百倍し、毎日の計量を非常の希望を以て待ち兼ねて居る。今

歐米の特殊教育

その體重増加の一例を示せば前表の如くである。



晝食

麵麩と牛乳二杯を與へ、晝食は十二時半にこれを與へ、三オンスの肉と野菜及

食物は晝食と午
前午後の小晝食と
を給するもあれば、
一日中の全食を給
するもある。シャ
ロツテンブルヒの
試みは、八時二十五
分前に登校したる
兒童にスーブ一杯
バターおよび麵麩
一片を與へ、十時に
またバターおよび

びスーブを取らしめる。午後は四時に牛乳とライ麥麵麩及びジャムを與へ

時	10:30	12:00
日曜日	飯と肉汁	プディング、牛乳三ク オーター、麥のクリーム、 雞卵六、チョコレート及 牛乳
火曜日	マカロニーと肉汁	プディング、タピオカ、 牛乳二クオーター、雞卵 クリーム、チョコレート 及牛乳
水曜日	トマトービスクスープ	ライスプディング、牛 乳三クオーター、雞卵六、 チョコレート及牛乳
木曜日	野菜及肉汁	ベークドフアリナプッデ イング、牛乳三クオター ー、雞卵六、クリーム、チ ョコレート及牛乳
金曜日	豆スープ	梅プディング、牛乳三 クオーター、雞卵六、コ ア及牛乳

る。夕食は七時二
十五分にこれを與
へ、スーブ麵麩及び
バターを採らしめ
る。夕食終つて兒
童は歸宅すること
になつて居つた。
米國のプロギイデ
ンス市の試は、晝の
一食並に午前の小
晝食だけを學校に
於て取らしめる仕

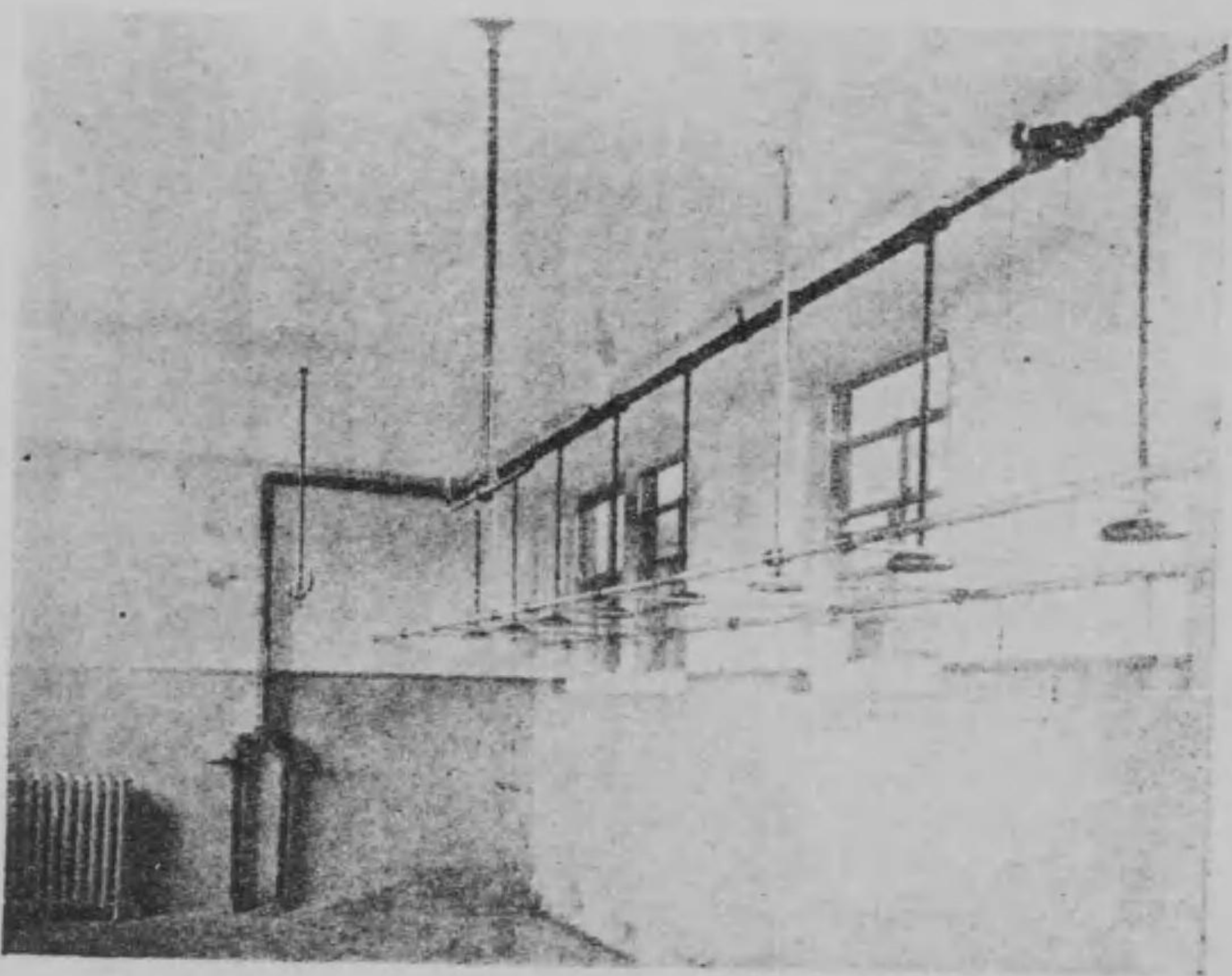
組であつた。今その一週間の獻立表を擧げて見れば、上表の如くである。

食費は支出の可能な父兄にあつては一部または全部これを徴収するが、否る者にあつてはこれを免除し、慈善金または公費を以て支辨すること前節に述べたると異なる所がない。今日に於ては、給食の回数に所によりて異つて居るが、學校に於いて食を取らしめる方成績の良好なるべきは言ふまでもない。余が訪問の當時は、各國とも戦争の爲食費を減額せられ、教師も看護婦も厨婦も、一様に愁嘆の聲を揚げて居つた。

校内には浴室があつて冷温浴孰れをも取ることの出来る仕掛になつて居る。この設備については、米國が最も進歩して居る。佛國の如きは、パリ市に唯一箇所しか普通の小學校にこれあるのみで、其規模の如きも極めて小なり居るが常で、これを體育係と呼んで居る所もある。この係は、兒童の身體全部について責任を負ひ、課業の如きも、その意見によつて中止せしめることがある。特に體操遊戲等の過激に亘る虞ある際には、屢々中止を命ずる。余が參觀中、心臓病の兒にして屢々體操を中止せしめられるを見たことがある。

浴室

轉學



浴室 (シャワーバス)

斯くて體重も平均體重以上になり復し、精神の活力も普通になり得たる後は、これを小學校の相當學年に戻す。また、身體の著しく羸弱なるは、これを療養院に移すこともある。この種の學校または學級は、常設なることもあり、暫設なることもある。暫設のものにも、期間の長短種々様々であるが、長い程好果の學がるは論ずるまでもない。前陳のシャロットテンブルグの森林學校は、其後延長して

七箇月とした。常設のものにあつては、その児童の出入常なく、またその學力も不揃な爲、學級教授並に分團教授等には用ふるに所なく、個人教授によるが常である。

癩身兒にはその種類の多いこと前屢々述べた所の如くであるが近時特に大都市に於ては成るべく同種類のものを集めて學級を編成する傾向になつて居る。例へば前陳のニューヨーク市の規定中(七)に屬する児童の如きは特別に日光も新鮮な空氣も滋養も休息も要するものではない唯皮膚の抵抗力を増大すれば足るもので極めて安値に救済し得る。余がニューヨーク市視察の際コロンビア大學教育學部の屋上に三年と四年との二學級の児童が各十三四人の一學級をなして居るを見た。打見たる所血色よく肥え太つて何等特別の取扱を要するやうにも見えなかつた。擔任教師に聞けば校醫の診斷によりこゝに移されたもので、前學年に數回風邪の爲缺席した児童であるといふ普通の児童と異なる取扱としては北方を塞ぎ他の三方を開放した教室内で寒風を浴びつゝ勉強し以て皮膚の抵抗力を増大すると午前中一回牛乳を取

寒目に罹り
易い児童

しむるとの二のみであつた。言ふまでもなく、缺損の全く補はれた児童はこれを元の學級に戻すのである。西洋の特殊教育は今はこの邊まで進んで居る。思ふに將來は心臟病者、神經病者等も各々別に取扱はるゝに至るであらう。

第十一章 身心缺損者の豫防

身體上又は精神上に缺損を有するものを教育して、それをして、少くとも社會の厄介にならずに自立自活せしめ、若し能ふならば、社會有用な人間たらしめようといふが、特殊教育の目的であること、既に第三章に述べた所の如くである。然るに、數多の身心缺損者の内には、到底教育の望のないもの、吾々と伍してともに社會生活をなすことの出来ないものがある。これ等は、社會から離隔して、特別な場所に於て保護を加へ、以てその一生を幸福に送らせることも、亦既に第四章第二節及び第五章第四節に陳べた所の如くである。

特殊教育は、社会事業の一部面として、消極的には社会の美観を傷けるものを最少限度に切り縮め、社会の能率を削減するものを出来るだけ少くしようと努力し、積極的には社会の各員をして、各々その天賦の才能を發揮し、各自の幸福をその天分に應じて享受し、進んでは社会の進歩發展に貢獻せしめようと努力して居る。去りながら、教育の力を以て如何ともすることの出来ないものは、これを社会に返附する。社会はこれを受けて、己より離隔し、以て己自身の毀損せらるゝを防ぐと同時に、その非社会的の同朋をして、一生を幸福に送らしめるやう保護し補助する。斯くて吾人の安宅たるべき社会は、善に美に、従つて幸福に、而して積極的に進歩の道程を辿ることを得るのである。

さりながら、翻へつて考へて見れば、これらはたゞ目前の社会を善美にしようといふだけであつて、未だ將來の社会を慮かつたものといふことは出来ぬ。將來を考へず、たゞ目前の應急事業に踰駭たるは、先見を以て特質として居る人間の所爲と考へることが出来ぬ。否假りに現在の社会を善美にしようとするだけでも、身心缺損者の因つて生ずる源泉をそのまゝにしておいては、

將來の社会の考慮

身心異常者の生ずる原因

これ等好ましからざる同朋は、踵を接して起り、如何に特殊教育を隆盛にするも、如何に保護事業を擴張するも、到底追ひもつかぬであらう。こゝに於て、何人の頭にも浮ぶは豫防事業である。

原因論の教へる所に従へば、身心の缺損の因つて生ずる原因には二種ある。その一は先天的の原因と稱し、兒童が未だ母の胎内に宿らない以前から存するものである。その二は後天的の原因と稱し、兒童が母體に宿つてから後に起る原因である。例へば、低能兒が精神病の親から生れたとすれば、先天的の原因であり、脳膜炎に罹つた結果斯くなつたといへば、後天的の原因であるが如きである。而して、後天的の原因としては、疾病、怪我、環境等を數へ、先天的の原因としては、精神病、神経病の血統、兩親の梅毒、大酒等を數へるが常である。

豫防策として、後天的の原因を除去すべく、疾病を豫防し、危険を戒しめ、環境を調整するは、従來も異つた意味に於て講究せられて居つたが、近年特に優境學は環境の調整をその研究の唯一の對象として居る。後天的の原因を除去しようといふは、プレウエンチフユイジエニツクス豫防優生學の關する所である。而して、この學の見地から

豫防策

して、將來の社會に好ましからざる同朋の生ずるを今から豫防しようといふが、近年に於ける社會事業家の計劃の一である。今日に於てその計劃の既に國法となつて實施せられて居るもあり、またなほ學者の研究問題として机上に横へられてあるもある。今その内主なるものを擧げて見れば、次ぎの如くである。

結婚禁止法

一結婚禁止——異常者を生産する傾あるものに結婚を禁止し、或は結婚届をなしても無効とする法令を有して居る國があるそれは、次の如くである。

被禁者	國名
癲癩 無能者 精神病 精神不健 精神病及癲癩 癲癩、精神薄弱、癲癩、梅毒	葡萄牙、英吉利、佛蘭西 獨逸、洪牙利、丁抹 瑞西 以太利 瑞典、諾威 ブルガリア

即ち、狂者に結婚を禁止して居るは、葡萄牙、英吉利、佛蘭西、獨逸、洪牙利、丁抹、瑞

西、以太利、諾威、瑞典の十箇國で、この上に低能をも加へるは、獨逸、洪牙利、丁抹、瑞西、以太利、諾威、瑞典の七箇國、なほその上に癲癩を加へるは、諾威、瑞典の二箇國、その上になほ梅毒をも加へるは、ブルガリアである。これによつて見れば、概して後進國の方が、人種改良について熱心である如く見える。米國に於いては、各州各異の法令を有して居る。今それを表によつて示して見れば、次の如くである。

被禁者	州名	州數
癲癩、白痴	カリフォルニア、デラウェア、デラウェア、デラウェア、メーリーランド、ヴァージニア、ウエストヴァージニア、アラバマ、アリゾナ、コロラド、ペンシルヴァニア、フロリダ、アイダホ、アイオワ、ミシシッピー、ミズーリー、モンタナ、ニューハンプシャー、ニューメキシコ、ノースダコタ、サウスダコタ、テキサス、テキサス、デストリクトオブコロンビア、サウスカロリナ、インディアナ、メイン、マサチューセッツ、ネブラスカ、ロードアイランド、ケンタッキー、ユタ、ヴァージモント、ワイスコンシン、ワイヨミング	六
		二八

無能者	ネヴァダ、ニューヨーク、ノースカロリナ、オクラホマ、オレゴン	五
癲癩、白痴、痴愚、癲癩	ウオシントン、オハヨー	二
癲癩、痴愚、低能、癲癩	カンサス、ミネソタ	二
癲癩、白痴、痴愚、低能	ミシガン	一
癲癩、低能、癲癩、	ニュージャージー	一
癲癩、痴愚、低能、	ミネソタ	一
計		四六

この表によつて見れば、廣い意味の精神病者、即ち叡智の缺損を伴ふ精神病者とこれを伴はざる精神病者とに結婚を禁止して居るは、米國四十八州および一地方中、四十五州および一地方で、これに癲癩といふ神經病者をも加へて居るは、この内に五州あることになる。

二、離隔法 (Segregation) — 結婚禁止は豫防法としては、未だ十全なりといふことが出来ぬ、何故といふに、彼等を社會の内に置いては、内々に結婚して、私生児を生み、その後仕末を社會に負はしめるからである。こゝに於て、彼等を離隔し、結婚することを絶対に不可能ならしめようとするものがある。

離隔法

そも、犯罪者中その重篤なるものは終身監禁して、社會の風に當らしめないのは、世界各國揆を一にして居る所である。これは固より優生學の見地からして然するのではないが、その結果は、自然に優生學の目的に合致することになる。然るに、これと同様の法を白痴に適用し、彼等を社會から離隔するによつて、等しくこの目的に到達しようとするものがある。即ち白痴離隔がこれである。米國に於ては、アラバマ、アリゾナ、フロリダ、ジョルジア、ルイジアナ、ネバダ、ニューメキシコ、サウスカロリナ、テネシー、ユタ、ウエスヴァージニア、イリノイの十二州とデストリクトオブコロンビアが白痴離隔令を有して居る。

三、去勢法 (Castration) — 白痴の重症なもの及び常習犯罪者は、終身監禁して置くのであるから、子孫を残す機會はない筈であるが、その他のものにあつては、保釋によつて社會に出でる。また犯罪者は、社會に害惡を及ぼす故を以て監禁することが出来るが、精神病者や神經病者にあつては、彼等が病院に入り、自ら進んで離隔するならば、好都合であるが、然らざるに於ては如何に社會

去勢法

に力ありとも彼等を強迫して離隔所に入らしめることは出来ぬ。しかも、異常者の内には、往々にして強勢な性慾に驅られて、惡種を蒔き散らすがある。この惡種の散亂を防ぐには、去勢するに如くはないといふ論もあつた。

この法は米國に於ては、カルフォニア州がこれを試みに施行したことがあるといふ。去りながら、この法には著しい弊害がある。それは、兩性が各々その特質を失ふといふことである。詳言すれば、去勢された男は、女の如く意氣地なくなり、筋骨も脆弱に化し、男子に特有な氣概を失ひ、力仕事に適しないようになる。また、女子は女子に特有な柔和な性質を失ひ、氣質が荒くなり、女藝や家事の如き細々した仕事には不適當になる。尤も去勢法を施されたもの十中の十までが必ず然くなるとは言ひ得ぬが、然る場合が甚だ多い。斯くしては、人間の經濟的事業の上に於ける大損失といはねばならぬ。この弊を一方に於て妨ぐと同時に、他方に於て惡種の残るを防ぐことの出来るが、次の不妊法である。

不妊法

四不妊法(Sterilization)——不妊法は、米國インディアナ州立感化院醫長、シャ

ープ氏の發見にかゝるものである。その初め、同院に收容して居つた不良少年が、手淫に耽り、終には自らその煩に堪へずして、一八九九年に去勢法を施して貰ひたいと申し出た。醫長は、去勢法を施しては、可惜青年を無能に終らしめるを憂ひ、試みに輸精管を切つてその切端を括つて見た。然るに、その結果は、何等心身上に變化を生ずることなしに、手淫の必要を感ぜしめなくなつたことを發見した。その後、氏は八年間に、同一の希望を有すもの百七十五人に同法を施して見たが、その結果は等しく良好であることを發見した。千九百七年に至つて、州の立法部は、痼疾的の犯罪者、白痴、痴愚等州立の各院に收容して居るものにこれを適用する法律案を通過した。その法律によれば、鑑定委員會並に管理部か、入院者の子孫を残すは利にあらず、且入院者自身の精神並に身體的事情は改善するの望なきものと鑑定した場合には、不妊法を施すことを得といふのであつた。その法の通過後、シャープ氏は千九百九年に至るまで、感化院收容者二百八十人につきて、希望の有無に拘はらずこれを施したが、依然として何等の惡結果をも精神上並に身體上に残すことのないこ

とを断言した。白痴院の方は如何かといふに、千九百二十一年に、州立低能院長の報告する所によれば、最初は熱心にこれを施行したが、今日はそれ程でない。この法を適用したのも餘りに多數ではないとのことである。

インヂアナ州のこの法令は、他州の模する所となり、これを優生法案 Eugenic Laws と稱して、千九百十六年までに、米國に於てこの種の法令を制定したのは總計十六州あつた。しかし、この内には、知事の承認を得ない爲、實施せられずに居るのもあり、一度施行して見たが、今は中止して居るもあつて、現在實施して居るは四五州に過ぎぬ。今これを表示して見れば、

州名	制定年	適用
インヂアナ	一九〇七	州立各院の收容者に適用す。ジャフアソングイルの感化院に於ては數百人に適用したる後、一九一三年に至り知事トーマスマーシャル氏施行を禁止した。その理由は監禁して置く故結婚の虞なしといふにある。
ウオシントン	一九〇九	常習犯及び色情狂に適用しようとするものなれど未だ施行せぬ。

カリフォルニア	同	州立癡狂院低能院及び監獄に收容して居るものにこれを施す。一九一六年の報告によれば六三五人にこれを適用した。一人は犯罪者で他は狂者である。
コネチカ	同	州立監獄及州立各院に收容したるものに適用する。一九一六年までに數人に適用したるのみ。
ネヴア	同	常習犯及色情狂にこれを適用す。未だ實施せぬ。
アイオワ	一九一	犯罪者、白痴、痴愚、低能、酒客、癡癪、梅毒、色情狂、惡疾、墮落者に適用す。二回以上獄に繋がれ又は性的犯罪をなしたるものには強制的に施行することになつて居る。しかし未だ實施せられたるを聞かない。
ニュージャージー	同	州立感化院及慈善院監獄に收容せられたるものに適用す。しかし未だ實施せられぬ。
ニューハンプシャー	一九一	精神缺損者には退院前當人並に保護者の承諾の下に施すことを得れば院内に留め置く、既に八人にこれを施行したといふ。
ネバダ	同	常習犯及色情犯罪者にこれを適用す、一九一八年以來適用中止。
ニューヨーク	一九一	州立癡狂院監獄感化院慈善院收容者に適用す、未だ實施せぬ。
ノースダコタ	一九一	州立監獄感化院低能院癡狂院收容者に適用す。一九一三年より施すことになり居れど未だ實施して居らぬ。

ヴイ スコ ンシ ン	同	州立又は郡立各院内に收容してある犯罪者狂院低能者癲癩 兒に適用する一九一八年五月パツファローで開かれた米國 低能研究會第四回總會席上で州立低能院長ウイルマース氏 の報告によれば六十人の入院者にこれを施したが何等の併 發症もなく又治療も迅速で生理上及心理上の變化も生じな いといふことである
カ ン サ ス	同	常習犯、白癩、癲癩、癩愚、狂者にこれを施す常習犯の 内には性的犯罪者をも含む、未だ實施せぬ
ミ ン ガ ン	同	州立の各院に收容せらるゝものに適用す既に低能者に試み たが一九一八年に至り州の最高法院から憲法違反を宣告せ られた
ネ ブ ラ ス カ	一九一五	ニューハンブシャーに同じ既に多數の退院者に施行したと いふが其數は明ならず
オ レ ゴ ン	一九一七	法は制定したれど未だ實施に至らぬ
サ ウ ス ダ コ タ	同	

優生法案には反對論も多い。その主なるものゝ一は、神意人道に負くといふ論である。神の似像を傷けるは神意に負く所以であり、子孫を絶滅しようといふは人道に負く所以であるといふ。その二は社會に好ましからざるものゝ生ずるは、自然の約束である。如何に小さな人力を以てそれを芥除しよう

うとしても芥除し盡くすことの出来るものではない。且つまた低能者にしても犯罪者にしても、乃至は精神病者にしても、癲癩者にしても、生來性なるよりも收得性なるが多い。吾々は、少數の生來者を生ぜざる工夫をするよりも、多數の收得者を豫防するが賢明な仕方といふべきであらうといふ。その三は、これら社會の病累者必ず等しく社會の病累者を生ずるとは定まつて居ない。世間には、犯罪者に尊敬すべき子孫が生まれ、大酒家の子に節制家が生じた例が乏しくない。否その反對に賢者の子に愚者が生まれ、道德家の子に犯罪者の生じた例は、例外としては餘りにその數が多過ぎる。遺傳學の教へる所に従へば、收得した性質は遺傳せずといひ、環境が適當でなければ、その遺傳性も發現することがないといふ。されば學問も承認しない、しかも殆んど偶然とも稱すべき起り事を、必然的の因果關係のあるものゝやうに考へるのは、理智に長けた人間の所爲とも思へぬといふ。その四は、惡種を残しさうな心配のあるものは終生監禁して置けばよい。不妊法などは無用であるといふ論である。

これらの反対論が、米國に於ては或は知事を強迫して法案を否認せしめ、或は中止を命ぜしめて居る。

英國に於ては、一九二二年にザモーニングポスト紙が、我種族の純化と題して精神缺損者に不妊法を施すの必要を論じ、政府に向つて、斯かる法律の制定を勧告し、またこれに對する諸家の意見を募つた。それに對して、アーケダールリッドといふ醫師は、現時國民の身心上の資質の退化しつゝあるを防ぐには、不妊法を政策として採用するの良策たるを論じ、ハロールドコックスといふ人は、同じ意見ではあるが、しかしこれを施すには、當人並に父母保護者の承認を経るの必要なるを述べ、精神薄弱者の保護教育について一權威であるドクトルトレッドゴールド氏は、不妊法は缺損者の特殊な場合に限つて、全く正當なまた推擧すべき方策である。しかしこの法を採用したからとて多くの場合に於て離隔並に入院監視を無用とする譯には行かぬ。これこの法を強制的に適用すべからざる理由であるといひ。ブライアンドンキン氏は、現在吾人の有する精神缺損者は精神缺損の親から生れるといふ智識は、一定の

法令の下にこれを施行するを正常視するに十分であるといつて居る。これに反して、精神衛生會の會長クルトールドトムソン氏は、如何なる形に於ても不妊法には反対であるといひ。精神幸福中央會長のレスクスコット氏は、余は我國に於て政策として不妊法を採用する以前に、この問題について十分の調査をなす必要があると思ふ。余は醫學的見地から見ても、社會的見地から考へても、精神缺損者をこの人爲的方法の犠牲にするに十分なる理由を未だに知ることは出来ぬ。精神缺損にも色々の度合がある。如何なる度合を境としてこの法の適用不適用を決定すべきか。萬に一國民精神健康問題に興味を有する人達が、強制不妊法問題を辯護することを負擔したならば、恐るべき困難に陥り、善い方向に活かすべき勢力を殺かれ、今日までに輿論の教育によつて贏ち得た進歩の大部分を失ふであらう。といひ、同會の委員も大體この意見に賛成して居る。即ち、同會では、調査委員會を設けて、之が調査に任せしめた。この調査委員會は現存の醫士會であつた。醫士會は、同年の十二月三十日に報告書を提出した。精神幸福中央會は、更に小委員會を設けて、こ

の報告を純醫學的の見地からばかりでなく、また社會的見地から眺めて、多少の修正を加へ、それを同會の意見として昨年五月發表した。それによると、(一)不妊法は現時に於ては實行すべき政策でない。(二)精神缺損者に不妊法を適用しても精神缺損者の生ずるを豫防するには十分でない。精神缺損の親がその子に同じ性質を遺傳するは事實である、併しながら精神缺損者は同種類の親から生れるばかりでない。外見的に正常と見えて、實は缺損を有して居るものや、精神病者、神經病者または輕微な精神的または身體的異常者をこの法の適用範圍外におくにおいては、精神缺損者の生出は、依然として減ずるものではない。(三)不妊法の政策は、斯く一方に於て豫防の效を極限すると同時に、他方に於ては大なる弊害を惹起する。何とならば、こは安全なりといふ誤見の下に監視の下におくべき缺損者を社會に放出し、彼等自身にもまた社會にも、不利な状態を惹起するに終るからである。斯るが故に、精神缺損者の取扱に關する國民政策の鞏固なる基礎は、現在の社會制度に順應すること能はざるものを離隔すること並に反社會的傾向の著しからざるものは、低能令に

よつて嚴重に監視するとの二者にありと信ずといつて居る。

これは専ら低能白痴に不妊法を適用するについての議論であるが、精神病者については、昨年の帝國議會に於て、上院議員アールラッセル氏が政府の提出せる精神病者取扱法案第一讀會に於て、政府の好意を謝し、次で語を繼いで、この問題を實地に研究した人々は、孰れも彼等が身心上の惡質を遺傳すること、また多産であるといふことから、不妊法に賛意を表して居る。されば、今は既にこの法案制定の時機が熟して居るものと見てよい。政府に於ては、よく調査委員會を設けるなり、或は適當な團體に委託するなりして調査せしめられんことを希望す。と言つて居る。

斯くて不妊法問題は、英國に於ても近年の一問題となつて居るのであるが、不審議なことには、これに對して、同國の優生教育學會 Eugenics Education Society は表面何等意見を發表して居ない。が實は同會は産兒制限問題を提げて、側面からこの問題解決を促進するやうな形勢を示して居る。

五、レントゲン法——生殖器に外科的施術を施して、輸精管や輸卵管を括く

る代りに、人體には何等傷けることなくして、同一目的を達しようとするものがある。これこゝにレントゲン法と假りに名づけたものである。X光線が生殖細胞を破壊し枯死せしめる事實は、久しき以前より知れ亘つて居る。これを利用して、或は子孫の生ずるを一時阻止しようとするがこの法である。しかし、こは尙研究中に屬する。元來人には個性といふものがあつて、同じ度合のX光線でも、或人は著しく感ずるが、或人は感じない。従つて如何なる度合のX光線ならば、生殖細胞を枯死せしめ得るか、またその發育を一時阻止し得るか、未だ判明しないが、孰れは不妊法に取つて代はりまた産兒制限をも科學的に有效ならしめる運命を有して居るものである。

凡そ如何なる法にまれ、それが一般に施行せられるまでには、幾多の故障反對あるを免れぬ。しかもその反對故障によつて、その法は益々洗練せられて、難のない行はれ易い形となるのである。思ふに、この問題は、將來社會實際上の問題として、益々廣く研究し論議せられるに至るであらう。

—終り—

大正十三年九月一日印刷
大正十三年九月三日發行

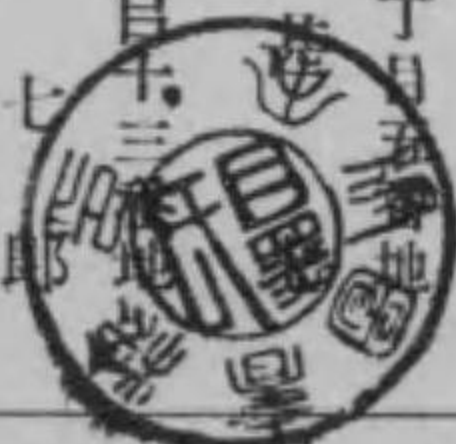
(定價金貳圓四拾錢)



有 作

[育教殊特の米歐]

著 者 樋 口 長 市
發 行 者 東京市京橋區南傳馬町二丁目
目 黒
印 刷 者 東京市京橋區木挽町二丁目
石 上 文 七



所 刷 印 會 文 青

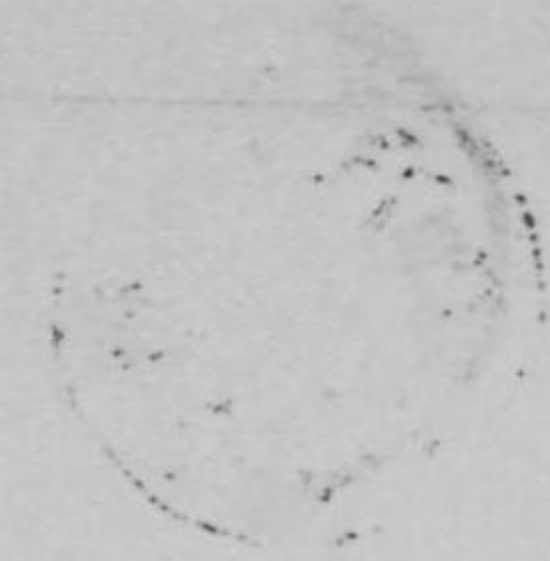
發行所

東京市京橋區南傳馬町二丁目
新潟縣長岡市表四ノ町(本店)

目黒書店

東京市京橋區南傳馬町二丁目 電話 長岡一八番
振替口座 二八〇九番
東京市京橋區南傳馬町二丁目 電話 長岡一八番
振替口座 二八〇九番

TI-4J-5



終

